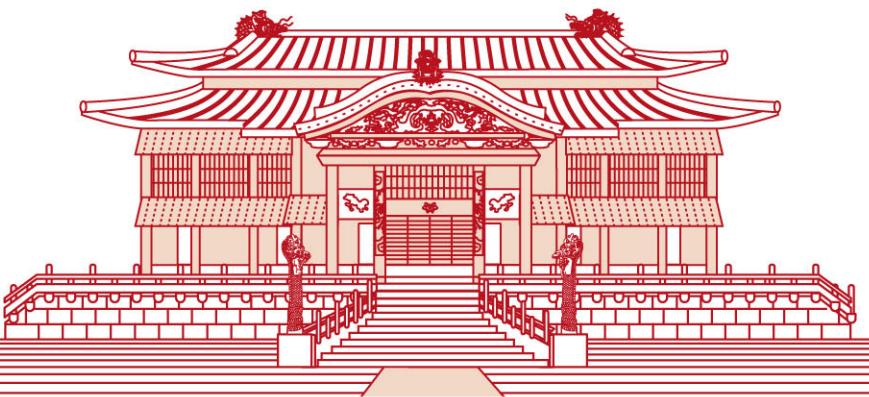




琉球大學

2021



UNIVERSITY OF THE RYUKYUS



CONTENTS

琉大 × 研究	学生生活	03	キャンパスライフ	67
	留学	05	CAMPUS MAP	69
	教育	07	施設紹介	71
	研究	08	海外留学・交流協定大学等	77
			就職サポート	78
			学生寮	79
			経済サポート	80
			取得可能な資格	81
	研究者紹介	09	2020(令和2)年度入試統計	83
	琉大が求める人材像	13	ACCESS	84
	琉大と首里城～過去編～	20		
	琉大と首里城～未来編～	28		
	人文社会学部	15	医学部	41
	国際法政学科	17	医学科	43
	人間社会学科	18	保健学科	45
	琉球アジア文化学科	19		
	国際地域創造学部	21	工学部	47
	観光地域デザインプログラム	23	工学科	49
	経営プログラム	24	機械工学コース	50
	経済学プログラム	25	エネルギー環境工学コース	51
	国際言語文化プログラム	26	電気システム工学コース	52
	地域文化科学プログラム	27	電子情報通信コース	53
	教育学部	29	社会基盤デザインコース	54
	学校教育教員養成課程	31	建築学コース	55
			知能情報コース	56
	農学部	57		
	亜熱帯地域農学科	59		
	亜熱帯農林環境科学科	61		
	地域農業工学科	63		
	亜熱帯生物資源科学科	65		



琉大×学生生活

本島

古川 耕介
農学部2年
東京都出身

田島 心氣朗
農学部3年
石垣島市出身

琉大の最初の印象はとにかく広いこと。
沖縄にいろいろな繋がりがあり
学びやすい環境

教育学部3年

離島

県外

動画を
チェック!



琉大は昔から地域の身近な大学で、
大学内外の色々な人と関わりながら
学べる場所

友利 龍人
教育学部3年
浦添市出身

03 | UNIVERSITY OF THE RYUKYUS 2021

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS 2021 | 04

Exchange student

Kelly Lorennij

マーシャル諸島出身

Ryudai, for me, of course, is very global.

But students can also focus on various kinds of locality in taking classes such as glocal course. In that course, we can immerse in local cultures of many countries and Okinawa with other students including both Japanese and international students, which makes much more fun.

農学部亜熱帯生物資源科学科4年

Fritz Miki Vivian

ミクロネシア出身

"We have so many exchange programs, and also exchange students coming from other countries. So, your experience here and meeting students from outside of Japan will open your world. And that will be a great experience."

琉大×留学

ヨーロッパ、中東、アジア、南北アメリカ、そしてオーストラリア。
学生の皆さんには、交換留学生として世界のどこででも勉強することができます。

国際地域創造学部 教授
石川 隆士

動画を
チェック!



Exchange student

Thurston B. Loeak

マーシャル諸島出身

"It's like the second place that I call home. I feel very open here with our classmates and our teachers. It's very nice having a positive community, especially here in Ryudai."



琉大×研究

沖縄の地域特性を活かした琉大の「とんがり研究」で
学部や学問分野の枠を超えて、新たな研究領域を開拓

琉球大学第17代学長

西田 瞳



動画を
チェック!



琉大×教育

すべての学部で
グローバル人材を育成
世界で求められる
人間になるために

岡崎 威生

工学部 教授
学長補佐（教育担当）



鈴木 詩織

埼玉県出身

農学部 農学部
動物共生学研究室 4年

黒毛和種子牛の利き足に
関する研究をしてきました
琉大の牛は驚きの結果に！

研究者紹介

どのような研究ですか？

外来種がどのように元々いた種を滅ぼしてしまうかのメカニズムを明らかにしました。沖縄の川には元々メダカがいましたが、蚊の防除のために1930年前後に北米原産の小魚カダヤシを放した結果、在来のメダカに取って代わる形でカダヤシが分布を広げていきました。さらに1970年代のペットブームの際に多くのグッピーが川に逃がされたことにより、現在はグッピーとカダヤシの間で競争が起こりカダヤシが滅ぼされつつあります。その理由を調べたところ、グッピーとカダヤシが交尾した際に、グッピーに交尾されたカダヤシは子を残すことができないことが分かったのです。逆にカダヤシに交尾されたグッピーは影響がなく、普通に子（グッピー）を残すことが分かっています。

なぜこの研究をしようと 思ったのですか？

私が沖縄に来たのが6年前で、本土ならメダカがいるような川にグッピーがいて驚きました。本などで調べるとメダカがいたところにカダヤシが入り、その後グッピーに置き換わった現象について書かれていたので、なぜこのような現象が起きたのかを調べたら面白いと思ったのです。また、元々の出身研究室では、異種間で交配した結果として一方が絶滅したり数が減ったりする「繁殖干渉」の研究が行われていましたが、研究対象はタンポポなどの植物や昆虫でした。魚ではまだ誰も研究していませんでした。ちょうどいい材料が沖縄にあるので興味を持ってくれた2名の卒論生と研究を進めました。

この研究はどのように 発展させる予定ですか？

この研究の結果、外来魚が元々いた魚を滅ぼす理由は食べるだけではないことが分かりました。つまり、グッピーのオスの繁殖行動をカダヤシの駆除に応用できる可能性があるのです。

私は以前、沖縄県のウリミバエなどを防除する部署（沖縄県病害虫防除技術センター）で研究員をしていました。放射線などで不妊化したウリミバエのオスを放つと、野生のウリミバエのメスが子を残さなくなります。それと同じでグッピーのオスを放つと、カダヤシのメスが子を残さなくなるのです。ただしグッピーも外来種。増えすぎると生態系を壊します。そのためオスだけ放ってグッピーの子供も生まれないようにするというアイデアも必要です。

今後の展開は？

沖縄ならではの自然環境を活かし、いろいろな生き物を対象とした研究をすすめたいです。特に外来種の研究を発展させて、世界中で生態系を破壊している世界の侵略的外来種ワースト100に選ばれているカダヤシが生態系に害を及ぼしてしまうメカニズムについて研究したいと思っています。現在の研究ではカダヤシのメスが悪い物質を放出して、同種のメスの繁殖を邪魔することがわかっていますが、その物質については特定されておらず、他の種にどのような影響が出るかもまだ解明されていないので、その物質について調べていきたいです。

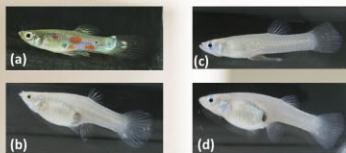
侵略的外来種 カダヤシの研究

カダヤシはグッピーに交尾され駆逐された

カダヤシの稚魚



類似するグッピーとカダヤシのメス
(a)グッピーのオス (c)カダヤシのオス
(b)グッピーのメス (d)カダヤシのメス



戦略的研究プロジェクトセンター特命助教

鶴井 香織
TSURUI Kaori

【略歴】2011年 京都大学大学院農学研究科修了。博士(農学)。
【専門分野】昆蟲生態学 現在は昆蟲に限らず、生態学全般を研究している。

南琉球 最古の土器の謎を解明

戦略的研究プロジェクトセンター特命助教

山極 海嗣

YAMAGIWA Kaishi

【略歴】2016年琉球大学大学院人文社会科学研究科修了。博士(学術)。
【専門分野】考古学。元々歴史学を専攻していたが、より人類の本質やメカニズムに迫りたいと思い、行き着いたところが考古学だった。



どのような研究ですか？

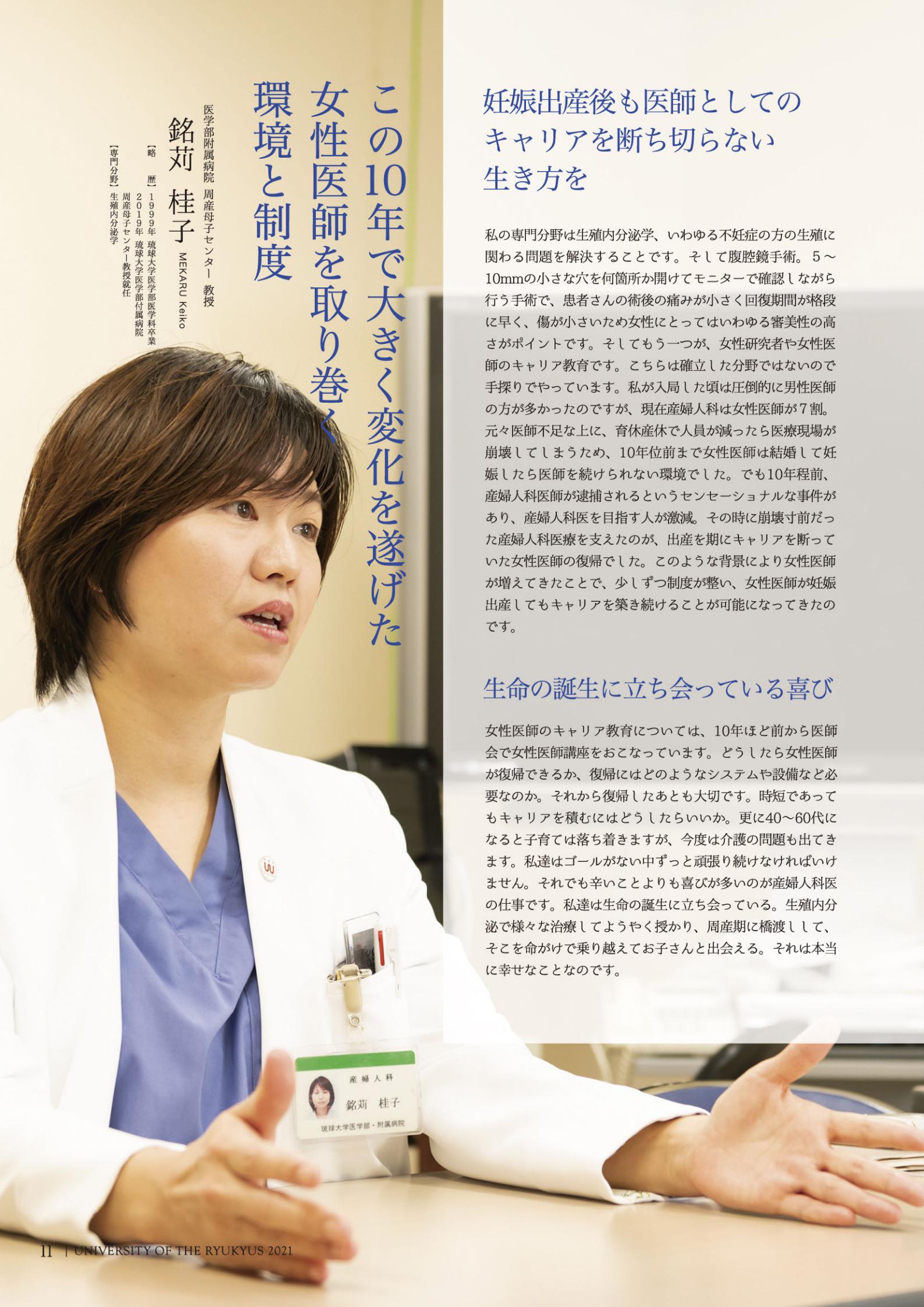
そもそも土器というものは粘土を成形し火で焼いて作った器で、遺跡から発掘された土器の形や模様などの特徴を調べるとそこで暮らしていた人たちの精神的な観念や好み、食生活といった文化的要素が見えてきます。沖縄の先史時代の考古学でも土器は注目されていて、南琉球では近年、従来最古とされた4800年前の土器文化を更に遡る1万年前の土器が出土したことでも注目が集まりました。しかし、その土器は小さな破片ばかりで、全体像や模様は全く分からず、今までの外見的特徴を分析するというやり方では研究が難航しました。そこで戦略センターで出会った方々と相談したところ、理化学的な分析や統計学的な解析が加わり、粘土の素材の特徴や、使い方、加工した痕跡を読み取ろうというプロジェクトが誕生しました。形や模様はわからなくても素材の使い方、加工する技術がどの地域・どの時代と似ているかを比べれば歴史的・地域的な繋がりが見える可能性があり、分析の結果南琉球で使われた土器はその後の時代に出てくる土器と素材の利用が似ていることが分かりました。今後もっと広い地域時代と比べたら更に詳細に分かってくるはずです。

この研究はどのように発展させる予定ですか？



考古学は所謂文系の学問と捉えられることが多いですが、今回のプロジェクトでは分析化学、統計学を専門にされる理系の方と一緒に行いました。この分析では人の目では追ききれないたくさんの科学的なデータを獲得し、統計という数学的なやり方で傾向を導き出していきました。これまでの自分の研究では馴染みのないやり方でしたが、色々な人たちと組んでお互いに意見交換しながらひとつの研究をしたことで大きな発見がありました。1万年前というと沖縄では旧石器時代、日本では縄文時代です。これまで南琉球の土器は台湾がルーツと思われて来ましたが、台湾で土器が使われるようになったのは6500～5000年前のこと。1万年前はまだ台湾で土器は確認されていません。今回南琉球の土器の特徴を分析できたことで、従来の説を再検証へ導く発見となりました。戦略的研究プロジェクトセンターでの様々な研究者との関わり合いはとても新鮮です。最初文系は自分しかなく緊張しましたが、同僚の様々な分野の研究を見聞きして互いの分野に共通点が見いだせると面白くなってきました。雑談の中から、本格的な研究に展開することもありました。それぞれ個別の分野や組織にいる状況では1本の太い幹は伸びるけれど、そこからなかなか隣の分野への枝葉は広がらません。しかしここに来て色々な人や分野と接触することで枝葉がどんどん開いていく。非常にいい効果を生んでくれたと思います。この戦略的研究プロジェクトセンターには助教や学生、ポスドクや学生アルバイトなど様々な人が出入りしていて、勉強会やセミナーを開くこともあります。専門外なことを勉強する必要がありますが、それが自らの分野自体を掘り下げ発展に繋がっています。我々はその恩恵を受けていると感じます。





この10年で大きく変化を遂げた 女性医師を取り巻く 環境と制度

医学部附属病院 周産母子センター 教授
銘苅 桂子 MEKARU Keiko

【略歴】
1999年 琉球大学医学部医学科卒業
2019年 琉球大学医学部付属病院
周産母子センター教授就任
【専門分野】 生殖内分泌学

妊娠出産後も医師としての キャリアを断ち切らない 生き方を

私の専門分野は生殖内分泌学、いわゆる不妊症の方の生殖に関する問題を解決することです。そして腹腔鏡手術。5～10mmの小さな穴を何箇所か開けてモニターで確認しながら行う手術で、患者さんの術後の痛みが小さく回復期間が格段に早く、傷が小さいため女性にとってはいわゆる審美性の高さがポイントです。そしてもう一つが、女性研究者や女性医師のキャリア教育です。こちらは確立した分野ではないので手探りでやっています。私が入局した頃は圧倒的に男性医師の方が多かったのですが、現在産婦人科は女性医師が7割。元々医師不足な上に、育休産休で人員が減ったら医療現場が崩壊してしまうため、10年前まで女性医師は結婚して妊娠したら医師を続けられない環境でした。でも10年前、産婦人科医師が逮捕されるというセンセーショナルな事件があり、産婦人科医を目指す人が激減。その時に崩壊寸前だった産婦人科医療を支えたのが、出産を期にキャリアを断っていた女性医師の復帰でした。このような背景により女性医師が増えてきたことで、少しづつ制度が整い、女性医師が妊娠出産してもキャリアを築き続けることが可能になってきたのです。

生命の誕生に立ち会っている喜び

女性医師のキャリア教育については、10年ほど前から医師会で女性医師講座をおこなっています。どうしたら女性医師が復帰できるか、復帰にはどのようなシステムや設備など必要なのか。それから復帰したあとも大切です。時短であってもキャリアを積むにはどうしたらいいか。更に40～60代になると子育ては落ち着きますが、今度は介護の問題も出てきます。私達はゴールがない中ずっと頑張り続けなければいけません。それでも辛いことよりも喜びが多いのが産婦人科医の仕事です。私達は生命の誕生に立ち会っている。生殖内分泌で様々な治療してようやく授かり、周産期に橋渡しして、そこを命がけで乗り越えてお子さんと出会える。それは本当に幸せなことです。

観光の公共的価値と 離島コミュニティに ついて調査

国際地域創造学部
教授

越智 正樹
OCHI Masaki

【略歴】2000年京都大学総合人間学部自然環境学科生物・地球環境論講座卒業
2011年京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻博士後期課程修了
【専門分野】観光社会学、地域社会学、農村社会学

観光と地域の関係、 地域社会の在り方を考える

私がこれまで行ってきた研究は、大きく分けると2つの方向があります。ひとつは観光と地域社会との関係についての研究です。観光立県、観光立国などとよく言われますが、ではどのような観光が地域への公共的価値を持つのか。例えば農村部の民泊や、「那覇まちま~い」のようなまち歩き観光など、一般市民がホストとなり参加するタイプの観光には、経済的だけではない公共的価値がどれほどあるのか。実態調査と類型化により、考察を深めきました。もうひとつは観光に限らず、地域社会やコミュニティそのものの在り方についての研究です。最近では、ある離島に関する島内外のコミュニティについて、いわゆる空き家問題と絡めて調査研究を行いました。そのためあちこちに出向き、綿密な計画に基づくインタビュー調査や資料収集を重ねました。地域には、数値的な尺度のみでは測り切れない社会的価値や認識構造があります。地域とは何か、空き家とは何かを根本から考察して、当事者の認識構造に沿ったアプローチの仕方を提言しました。

客観的な立場から真理と正義を追究し 公正でより良い社会に

学問の基本は真理の追究ですが、社会学はさらに、正義の追究も同じくらい大切にしています。ここでいう正義とは、社会を形づくる規範と公正さのことです。どういう観光だったら地域をよりよく形づくるか。とりあえず観光振興してから地域への波及を考えるのではなく、「良き社会」の構想が先にあって、その中であるべき観光の姿を考える。そんな研究をしています。





ADMISSION POLICY

琉大が求める人材像

人材の育成

- 豊かな教養と自己実現力を有し、総合的な判断力を備えた人材
- 優れた専門性を持ち、地域社会及び国際社会に貢献する人材
- 外国語運用能力と国際感覚を有し、国際社会で活躍する人材
- 地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

求める学生像

- 高等学校段階までの教育において、基礎的な知識・技能を習得し、問題意識を持ち続け、主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
- 異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し、地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
- 自分自身の可能性を信じ、自己の個性を生かし、自己実現に意欲のある人

人文社会学部

▶ P15



人文社会学部長
あんどう よしみ
安藤 由美

人文社会学部は、私たち人間や地域社会、あるいは国際社会が抱える課題、その歴史や文化、そしてそもそも人間の精神・心とは何か、こういった問題に興味のあるあなたにきっとふさわしい学部です。法学、政治・国際関係学、哲学・教育学、心理学、社会学、琉球とアジアを中心とする歴史・民俗学、言語学、文学など、多彩なプログラムを準備して、皆さんをお待ちしています。

国際地域創造学部

▶ P21



国際地域創造学部長
いしはら まさひで
石原 昌英

国際地域創造学部は、グローバルとローカルを併せ持つ視野によって、地域社会における現代的課題の解決や国内外の産業・文化の振興に寄与できる人材の育成という教育目標を掲げています。受験生の皆様、本学部に入学し、「国際」「地域」「創造」が自分にとってどのような意味を持ち、それをどのように組み合わせて自分の学びを究め、卒業後に地域社会、国際社会においてどのような貢献できるのかを考えてみませんか。卒業までにはその答えが見つかります。

教育学部

▶ P29



教育学部長
はぎの あつこ
萩野 敦子

教育学部は、学校教育教員養成課程の一課程から成り、卒業がそのまま教員免許の取得につながるカリキュラムを組んでいます。ここに集う皆さんには、「沖縄の子どもの学びと育ちを支える」という合言葉のもと、そのために必要な知識・技能・教養に加えて、子どもが学び育つ現場で主体的に行動できる実践力、子どもの心に寄り添うことのできる想像力を身に付けてほしいと願っています。急速に変化する現代社会において子どもを輝かせる教育のありかたを、一緒に探っていきましょう。

理学部

▶ P33



理学部長
やまざき ひでお
山崎 秀雄

科学技術の進歩によって生活が便利で豊かになりました。一方で、新型コロナウイルスや地球温暖化問題のような人類的課題も増えています。理学部では、グローバル化社会に貢献できる地球市民の育成を目指しています。人類共通の言語は、科学と数学です。共通言語である数学、物理、化学、地学、生物の分野を基礎として、沖縄の亜熱帯海洋特性を生かした世界的な研究も展開しています。サンゴ礁の島と一緒に未来を考えてみませんか。

医学部

▶ P41



医学部長
いしだ はじめ
石田 肇

日本列島の南端に位置する琉球大学医学部は、良き医療人を養成しています。2024年の移転に合わせて、国際性・離島の特性を踏まえた沖縄健康医療拠点形成を目指しています。具体的には、高度医療・研究機能の拡充、地域医療水準の向上、国際研究交流、医療人材育成を行います。このように、今、日本で最も活発な医学部です。また、沖縄のゆったりとした雰囲気の中で勉学ができる環境は、学習量の多い医学部で学ぶ学生にはたまらない優しいものがあります。

工学部

▶ P47



工学部長
わだ ともひさ
和田 知久

美しいサンゴ礁の海、年中緑溢れ、空気がおいしく、花粉症もない沖縄。情報通信技術の発達で、そんな自然豊かな場所でも、世界中の最新の情報が簡単に手に入ります。天地自然のルールを数学や物理学でモデリングし、そして頭脳を使ってデザインすることで人類社会に活かしてゆくのが工学部の学びです。機械・エネルギー・電気・電子・社会インフラ・建築そして知的情報技術を利用し、世界で活躍できる人を真面目に育成しています。

農学部

▶ P57



農学部長
わだ こうじ
和田 浩二

日本で唯一亜熱帯地域に位置する琉球大学農学部！「食料生産」、「環境保全」、「エネルギー」、「生物資源」、そして「健康の保持増進」に関わる多種多様な課題について、その地域特性を最大限に活かして、意欲的に教育と研究を行っています。琉球大学農学部では、亜熱帯の沖縄でしかできない「農学」、総合科学としての「農学」、そしてグローバルな「農学」に興味や関心のある学生を待っています！！

人文社会学部

Faculty of Humanities and Social Sciences



国際法政学科

Department of Law Politics & International Relations

人間社会学科

Department of Sociology and Human Sciences

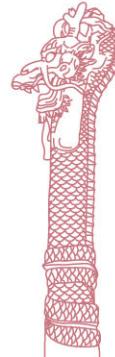
琉球アジア文化学科

Department of Ryukyuan and Asian Studies





法と政治、国際関係の「知」から
日本・国際社会を考察、俯瞰する



国際法政学科

Department of Law, Politics & International Relations



Admission Policy [求める人材像]

人間社会や社会諸科学への深い関心、柔軟な思考力、主体的に学ぶ意欲を持った人を求めていきます。

○一般選抜(前期日程)

全科目に対してバランスのとれた基礎学力を有することはもちろん、社会情勢を広く認識し、問題意識を持つために、論理的思考力と外国語能力を十分に身に付けている人を求めていきます。

○一般選抜(後期日程)

社会科学を学ぶための基礎学力を有することはもちろん、社会情勢を広く認識し、問題意識を持ち、それらを論理的に説明できる人を求めていきます。

○学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す)

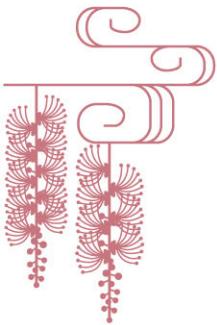
人間社会や社会科学への深い関心、柔軟な思考力、主体的に学ぶ意欲を持った人を求めていきます。全科目に対してバランスのとれた基礎学力を有することはもちろん、社会情勢を広く認識し、問題意識を持ち、それらを対話や文書で論理的に説明できる人を求めていきます。

研究分野

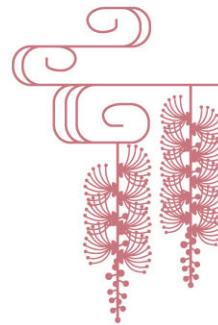
- | | | |
|---------|---------|---------|
| 法学プログラム | ● 国際法 | ● 民事訴訟法 |
| | ● 刑法 | ● 民法 |
| | ● 行政法 | ● 財産法 |
| | ● 社会保障法 | |
| | ● 労働法 | |

政治・国際関係学 プログラム

- | | |
|---------|----------------|
| ● 政治過程論 | ● 国際関係史 |
| ● 比較政治学 | ● 国際社会学 |
| ● 日本政治 | ● 国際政治学
外交史 |



人間の考察を中心に、諸問題の解決策を
多角的視点から立案できる人材へ



人間社会学科

Department of Sociology and Human Sciences



Admission Policy [求める人材像]

○大学での学びの土台となる基礎学力を持ち、多面的な観点から物事を考察し、多様な人々と協働しながら自分なりの意見をまとめることができる人

○思想・教育・心・社会に強い関心を持ち、よりよい生き方や教育・市民社会の発展・生活問題の解決に貢献したいと思う人

○すべての科目で十分な基礎学力を有し、論理的思考・問題解決能力に秀で、専門的学問分野・職業に対する目的意識が高く興味関心が明確な人

研究分野

哲学・教育学

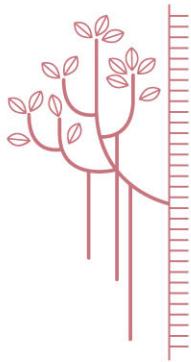
- 教育社会学
- 哲学
- 倫理学

心理学

- 認知心理学
- 臨床心理学
- 社会心理学
- 認知臨床心理学

社会学

- 社会学
- 國際社会学
- 社会福祉学
- 地域福祉学
- マスコミ学
- ジャーナリズム
・新聞学



琉球・日本・アジアの言語や
文化・歴史を学究し専門的知識を深める

琉球アジア文化学科

Department of Ryukyuan and Asian Studies



Admission Policy [求める人材像]

研究対象である琉球アジア言語文化圏(沖縄、日本、中国、台湾、朝鮮半島)の言語、文学、文化、歴史、民俗などに強い関心と学習意欲を有し、彼我の相違と類似性の面に目を向かつて主体的・積極的研究ができる人を歓迎します。

具体的には、下記の人材を求めます。

- 専攻分野の研究資料・情報を収集する能力
- 収集した資料や情報の整理・分析を通して独自の視点から意見を持ちうる能力
- 研究した成果を論理的にまとめて説得力のある発表ができる技能
- 他者との議論や意見交換を通して多様な見解や価値観を学び、内省し、柔軟に修正・改善する姿勢

研究分野

歴史・民俗学

- 琉球史学
- 沖縄近現代史
- 環境民俗学
- 中琉関係史

プログラム

- 日本古典文学
- 日本近現代文学
- 琉球文学
- 中国文学
- 朝鮮文学

言語学

- 日本語学
- 中国語学
- 琉球語学



1951年2月12日 開学記念式典の様子

琉大の幕開けは、首里城から。

西田：ちょうど今年琉大は創設70周年。沖縄戦にて焼失した後、沖縄に本格的な大学を建てるにあたり、場所をどこにするかという議論も随分されたと思うのですが、それが沖縄戦にて焼失した首里城の跡地だったということに個人的に凄いことだと思うのです。大学本部は正殿のあったところに置かれ、デザインも首里城を意識して作られました。そのことに県民の多くの方が『戦後の復興はまずは人材育成から』と考えていたことが現れていると改めて思った訳です。実際に狩俣先生が学生として通われていた頃は、どの様に過ごされたのでしょうか？

狩俣：まず当時の琉大には正門がなく、守礼の門が正門みたいなものでした。正殿跡の本部棟に向かって南殿側が法文学部と教育学部で、北殿側が理学部、その手前に図書館がありました。今の守礼の門の右横には農学部、守礼の門の手前に工学部がありました。本部棟の前には駐車場があり、その真ん中に鉄板。開けると井戸がありました。丘の上なのにこんこんと水が湧いていて、かつて生活用水として使われていたであろう井戸は、ここに確かに首里城があったのだと分かる数少ない場所でした。今の龍樋があるところの階段は1段が大きく、普通に登ると右足だけで登ることになるので、1・2・3、1・2・3のリズムで登るワルツ坂と呼んでいました。首里は狭いキャンパスだったので、他の学部の学生と交流し易かったです。

西田：私が赴任したのは1980年で、ちょうど西原キャンパスが出来始めた頃。首里キャンパスと行ったり来たりしていたのですが、首里キャンパスは緑が鬱蒼とした印象で、西原は赤土だらけ。ここが首里キャンパスのように落ち着いたキャンパスになるのだろうかと思ったのですが、それから40年経った今は緑に溢れていますね。時間が経つとこうなるのですね。

西田 瞳
Nishida Mutsumi
学長
【専門分野】
海洋生物学、分子進化生物学

戦後焼け野原で何もなくなった首里城跡が緑に溢れたキャンパスになり、赤土だらけだったこの西原キャンパスも今はこんなに緑に溢れている。沖縄の自然の再生能力の高さを感じます。

狩俣：70年前、多くの方の力を借り、首里城跡に沖縄群島の最高学府として琉大は出来ました。沖縄の叡智の塊があったところに、戦後の沖縄の復興を担う人材を作る場所として誕生した琉球大学。そういった建学の歴史があるということを今の学生に伝えるということも必要だと思います。場所は変わったけど、精神は昔のままだという意思の現れとして首里キャンパスにあった樹木を移植して首里的杜を造ったり、寮の名前を引き継いだりしたのだと思います。※

※今でも学生寮の一部の棟は、かつての南星棟、海邦棟、北辰棟の名前を受け継いでいる。

狩俣 繁久
Karimata Shigehisa
名誉教授
島嶼地域科学研究所 客員研究員
【専門分野】
日本語学
言語学

国際地域創造学部

Faculty of Global and Regional Studies



国際地域創造学科

Department of Global and Regional Studies

**観光地域デザイン
プログラム**
Tourism Sciences

**経営
プログラム**
Management

**経済学
プログラム**
Economics

**国際言語文化
プログラム**
Global Languages and Cultures

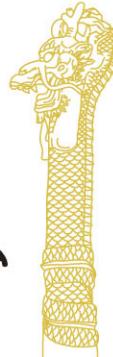
**地域文化科学
プログラム**
Geography, History and Anthropology



グローバル × ローカル
様々な視点を融合させて
実践的な知の掛け算を

Admission Policy [求める人材像]

- 地域の文化・社会について多様な学問的見地から興味を持ち、主体性をもって課題を取り組み、そしてより良い課題解決のために様々な立場の人々と意見を交換しつつ実行することができる人。
- 現代の地域・国際社会をめぐる多様な課題に対して関心を持ち、自らの感性と経験をとおして他者や社会へと関わり、得られた知見を社会全般に還元する態度を備えている人。
- 21世紀型市民として必要な学際的教養を身に付ける意欲を持ち、他者や異文化の持つ多様な価値観に対して柔軟な態度を身に付けている人。



観光と地域について探究し、
社会で創造的に活躍する人材を育成する

観光地域デザインプログラム

Tourism Sciences



本プログラムは、グローバル化時代が進展する中、持続可能な開発に資する人材、高い学士力を身につけ、現代社会で創造的に活躍できる人材を育成することを目的とします。

観光地域デザインプログラムとは、観光ビジネス、観光政策、自然・文化資源のマネジメント、地域開発など様々な領域から学際的に「観光」「地域」「観光と地域の関係」、あるいはそれらの成り立ちや振興を考える学問領域です。本プログラムでは、サステナブルツーリズム(持続可能な観光)のコンセプトを基盤に、「ヘルスケアデザイン&ツーリズム分野」「観光地開発分野」「地域資源マネジメント分野」「観光ビジネス分野」の4つの分野を中心に、文理融合型の学際的アプローチによって、観光と地域について探求してゆきます。

2年次後期から始まる本コース独自のプログラムにおいては、観光や地域デザインに関する専門科目を提供するとともに、コミュニケーション能力を高めるために外国語運用能力の向上を重視した科目を提供します。併せてインターンシップ等をキャリア開発のための科目及び、より高度な専門科目を提供し、問題を解決する能力の向上を図ります。

研究分野

- 社会医学・ヘルスツーリズム
- 建築環境工学、環境心理学、持続可能観光論
- 観光社会学・農村社会学・地域社会学
- 観光経済学
- 文化的景観研究・観光景観学・文化遺産学
- 観光産業論・会計情報論
- 保全生態学・生物人類学
- 地域・環境教育論
- 観光経営学
- 観光学



「経営」の学びを通して、目標に向かって
積極的に行動できる人材を育てる



経営プログラム

Management



「経営」というと、会社の社長さんや部長さんの仕事で自分とは関係ないことだと思いませんか？

確かに「経営」とは会社という組織を仕切る仕事を指す場合が多いかもしれません。しかし、「経営」という言葉の意味はとてもシンプルです。それは、「目的を達成するために、継続的計画的に意思決定を行い、実行に移す(大辞泉より引用)」ということです。こう考えると、「経営」という言葉の距離がかなり近くなったのではないでしょうか？例えば自分の所属するサークルやクラブを強くしたり、人々に注目されるようにするのも経営です。あるいは、将来なりたい自分がいて、それを目指して今からどのような筋道をとればその目標に辿り着けるかを考えるのも経営です。

「経営」の出発点として、まずは目指すべく魅力的な目標を設定することが必要となります。それは自分が享受できるメリットを考えることでもあります。そして、目標に向かって進むには、行動に移すためのエネルギーが欠かせません。そのエネルギーとは、自分のやる気、能力、人脈、使える道具や資材、資金、知識、ノウハウなどです。突き進むエネルギーを無駄なく運用することのできる人材になって下さい。

研究分野

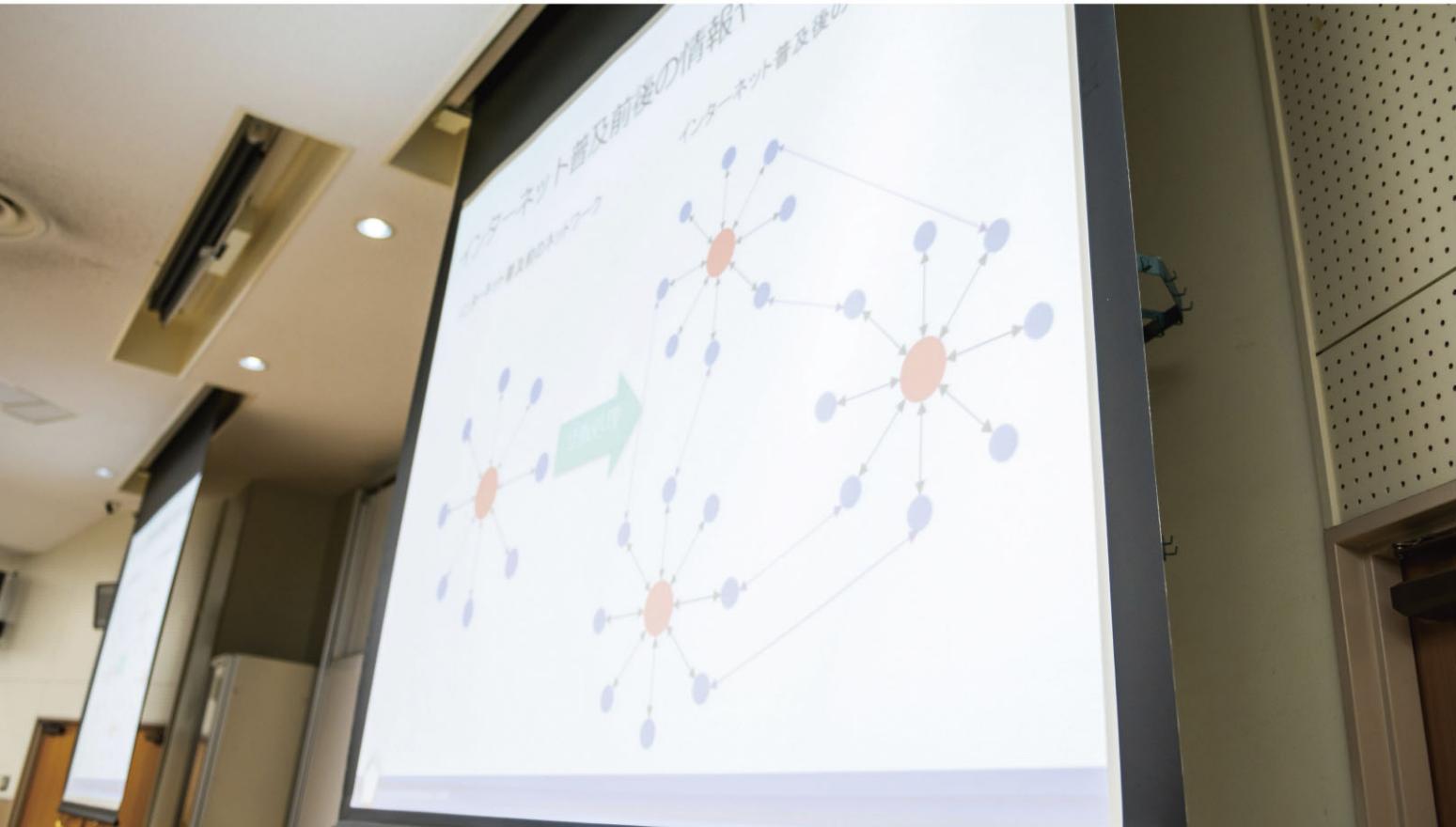
- マーケティング論
- 経営組織論・メディアダイナミクス
- ファイナンス論・財務管理論昇任
- 観光経営
- 流通システム論
- 税法
- キャリア論、組織行動論、サービスマネジメント論
- 経営戦略論
- 人的資源管理論
- 財務会計
- 持続可能な観光開発
- 会計学
- 管理会計論
- 中小・ベンチャー企業論
- 技術経営
- 知識経営



経済について幅広く学び、経済学の視点から
社会の現状を捉え、解決する力を

経済学プログラム

Economics



ビッグデータ、人口知能(AI)、モノのインターネット(IoT)といった新しい技術が次々と生み出され、社会は刻一刻と変化し、人々の生活にも大きな影響を及ぼしています。こうした技術が生み出される源は何なのでしょうか？社会は今後、どのように変化していくのでしょうか？そうした中で、私たちはどのように行動していけばいいのでしょうか？経済学を学ぶことで、社会の現状を理解し、その変化の方向を予測し、そこから得られた知見をもとに判断し行動することができます。経済学プログラムでは、基礎的な内容から応用理論に至るまで、歴史(経済史)や政策(社会政策、経済政策)も踏まえながら、経済について幅広く学ぶことのできるカリキュラムを提供しています。また、データを活用した統計分析(計量経済)、社会に出た上で役立つスキルや実践力の習得(実践経済学)にも力を入れています。経済学の視点から社会を捉えることで、社会の仕組みを理解し、地域の抱える問題点を見出し、適切な解決策を提案できるような、そんな人材を目指しませんか。

研究分野

- 金融論
- 経済政策
- 財政学
- ミクロ経済学
- 計量経済学
- 社会政策
- 國際経済学
- 開発経済学
- 日本経済史
- マクロ経済学
- データサイエンス、
社会・経済物理学
- 西洋経済史

言語、文学、文化の専門的な授業と、
高度な外国語運用能力の獲得を目指す

国際言語文化プログラム

Global Languages and Cultures



国際言語文化プログラムは、英米、ドイツ、フランス、スペイン語圏(南米)の言語、文学、文化を包括的かつ専門的に学びたい学生や、日本語や日本事情について学びたい外国人留学生のためのプログラムです。

本プログラムの学生は、言語、文学、文化の専門的な授業や、ネイティブ・スピーカーの先生による授業、留学生との交流、そして英語圏やヨーロッパ(または南米)での研修などを通じて、高度な外国語運用能力の獲得をめざします。英語には、昼間主コースのほか、社会人や働く学生も学ぶことができる夜間主コースもあります。また、本プログラムは、沖縄で唯一、ドイツ・フランス・スペイン語圏の言語、文学、文化について専門的に学ぶことができるプログラムでもあります。自分の選んだ言語の習得を通して、その文化や社会を深く知り、世界の人々と自由自在に対話する力を獲得できたら、それまで遠いと思っていた「世界」は案外あなたの身近にあることを実感できるでしょう。

研究分野

- 英文学
- 社会言語学・言語政策
- ドイツ文化
- 異文化コミュニケーション
- ジェンダー研究
- 言語学
- 日本語教育
- 比較言語学
- スペイン文学
- 応用言語学・英語教育
- イギリス文学
- フランス文学
- コミュニケーション論
- アメリカ文学
- 言語学
- 応用言語学・第2言語習得論・英語教育
- スペイン言語文化
- 話語研究、非言語コミュニケーション
- 言語学・形式意味論・琉球語
- フランス語学
- アメリカ研究
- ドイツ語学
- スペイン語圏歴史・文化
- 英語教育・応用言語学



資料解読やフィールドワークを通して、
「地域」や「文化」について総合的に学ぶ

地域文化科学プログラム

Geography, History and Anthropology



地域文化科学プログラムでは「人間」について、空間、時間、文化とのかかわりから学ぶことができます。ただし単なる理論だけでなく、古文書や図像などの史料解読を通して、さらに巡査や現地調査・発掘、聞き取り・参与観察などのフィールドワークを通して学べるプログラムです。またGISなどの地図に関するスキルも身につけることができます。本プログラムは複雑・緊密化する世界を地理学、歴史学、文化人類学の最新の研究成果をもとに、総合的に理解することを目指しています。史料に親しみ、フィールドに出かけ、人類が培った我々へのメッセージ、現代に生きる人々の多様な暮らし方、さらにそれらが置かれた環境などについて考えていきませんか。

研究分野

- 博物館学
- 社会人類学・比較民俗学
- 東洋史
- 民俗学
- 自然地理学・水文地形学
- 人文地理学
- 西洋史学
- 社会人類学・民俗学
- 考古学
- 日本近世史・歴史教育
- 地形学
- 人文地理学・地理学方法論



琉大と首里城

～未来編～

琉大が描く首里城の未来。

2020年守礼門



※首里城再興学術
ネットワーク

西田：地域との交流や貢献も設立当初から行われていましたね。

首里キャンパスは街の中にあって、地域との関わりが深かったのですが、西原に来て地域との関わりが少し薄れた気がします。今後はどの様にもう一度地域に浸透していくのかが、大きな課題かと思います。

狩俣：この広いキャンパスから、学生の目を地域に目を向けさせることは大切です。例えば本土から来た観光客を学生がボランティアガイドとして案内して、沖縄の歴史や文化を伝える授業を作るとかはどうでしょう。琉球アジア文化学科では、新入生が首里の街を歩く首里巡検という授業があります。沖縄出身なのに首里城に行ったことがない、玉陵(たまうどうん)に行ったことがないという学生も多いので、地域へと目を向けさせているのです。

西田：『琉球大学未来地域共創フェア』も開催し、多くの人に来場してもらいました。未来のためにには、周辺で子どもが参加できるようなイベントもやれば更に広がりができると思います。

首里城再興に琉大がどう切り込むか

西田：琉大が西原に移転したあと首里城は再建されましたが、昨年焼失しました。首里城と繋がりの深い琉大としてはどうするべきかという課題があります。私としてはすぐに学術面から、再興に貢献しなければいけないと強く思っていて、首里城再興学術ネットワークを構築中※です。現役の先生はもちろん、学生や名誉教授の先生も、さらに琉大だけでなく外の研究者の皆さんもネットワークを組んで首里城の再興について、学術面から議論できればと思います。

狩俣：琉大の名誉教授には高良倉吉先生とか、西村貞雄先生とか前回の首里城の復元に関わってきた方がたくさんいますよね。

それは琉大の知的財産ですよね。首里城の焼失は不幸な出来事ではありますが、琉大の知をもう一度結集して次の再建に向けイニシアティブを取るのは大事なことだと思います。

狩俣：そういう意味で、琉大は元々あの場所にあり人材を養成してきたという、琉大の建学の精神や熱意をPRするのは大切だと思います。あの場所に再び首里城を復元するために、琉大の叡智を使わせてください、というのはとても理にかなっていますから。

西田：首里城は世界文化遺産ですが、それは地面の下(地下遺構)なんですよ。上(今回焼失した正殿など)はまだそういうものではありませんが、極力元あったものに可能な限り近いものを再建して、おそらくそれが100年以上経てば、少なくとも国内では平成・令和の叡智を集めて再建した文化的な遺産となるのではないでしょうか。長期の視点で積み上げていく必要があると思います。

西田 瞳

Nishida Mutsumi

学長

【専門分野】

海洋生物学、分子進化生物学



狩俣 繁久

Karimata Shigehisa

名誉教授

島嶼地域科学研究所 客員研究員

【専門分野】

日本語学

言語学

教育学部

Faculty of Education



学校教育教員 養成課程

Elementary and Secondary School Teacher
Training Program

| 小学校教育コース

| 中学校教育コース

| 特別支援教育コース



子どもに寄り添い

学びと育ちを支える力を

総合的に身につける

西表島での演習（撮影：淡野将太）

学校が抱える教育の多様な課題に向き合い、
柔軟かつ力強く対応する専門家の養成に向けて

学校教育教員養成課程

Elementary and Secondary School Teacher Training Program



4年間の学び

これらは教育学部で学べる科目のほんの一例です。ここに書かれている以外にも、各専修からさまざまな科目が提供されています。

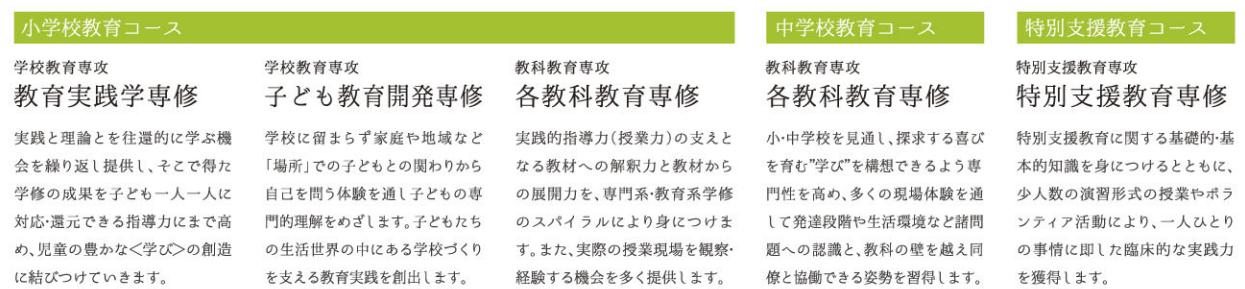
教育について多角的に学べる科目	小学校教員になるための科目	中学・高校教員になるための科目	子どもを知るための科目	教職実践系の科目
● 教職入門	● 国語概説	● 国語科教育法	● 子どもの世界・学びの世界	● 教職体験 I
● 教育原理	● 初等国語科教育法	● 日本文學概論	● 理解と表現の基礎的スキル	● 教職体験 II
● 教育課程	● 社会科要説	● 社会科教育法	● 小学校教育フィールドワーク	● 介護等体験指導
● 教育方法	● 初等社会科教育法	● 日本史概論	● 小学校教育研究法	● 学校教育実践研究
● 教育心理学	● 数学概論	● 数学科教育法	● 子どものからだと動き	● 小学校教育実習
● 特別の支援を必要とする多様な子どもへの理解と支援	● 初等算数科教育法	● 代数学序論	● 子どもと生活のなかのことば	● 中学校教育実習
● 総合的な学習の時間の授業づくり	● 自然科学概論	● 理科教育法	● 乳幼児教育学	● 特別支援学校教育実習
● 特別活動論	● 初等理科教育法	● 物理学実験	● 子どもと自然体験活動	● 幼稚園教育実習
● 生徒指導論	● 音楽	● 音楽科教育法	● 子ども読書論	● 高等学校教育実習
● 教育相談	● 初等音楽科教育法	● 音楽基礎理論	● 特別支援教育概説	● 教職実践演習
● 学校カウンセリング	● 小専美術	● 美術科教育法	● 美術理論・美術史基礎	● 教育実践 フィールドワーク
● 道徳教育の理論と実践	● 初等図工科教育法	● 体育	● 体育科教育法	● 教職インターンシップ
● 教育行政学	● 初等体育科教育法	● 初等生理学	● 生理学・運動生理学	● 模擬授業
● 学校社会学	● 家庭	● 技術科教育法	● 技術科教育法	
● 教育の制度	● 初等家庭科教育法	● 基礎製図	● 基礎製図	
● 離島・へき地教育概論	● 外国語	● 家庭科教育法	● 家庭科教育法	
● 子どもと多言語・多文化教育	● 初等外国語教育法	● 栄養学	● 栄養学	
● 新聞活用講座	● 生活科教育法	● 英語科教育法	● 英語科教育法	
● 平和教育概論	● 初等生活科教育法	● 米文学概論		

Admission Policy [求める人材像]

本学部は、1 課程(学校教育教員養成課程) 3 コース(小学校教育コース・中学校教育コース・特別支援教育コース)からなります。

学校教育教員養成課程では、教育という営みの本質を学びつつ、主として学校教育に関わる今目的的な問題に真剣に取り組もうとする、次のような人材を求めています。

- 教員として主体性を持ち、子ども及び社会と関わっていきたい人
- 教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人
- 高等学校での基礎学力を身に付け、思考力、判断力、表現力を持つ人
- 沖縄の歴史的・環境的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人



理学部

Faculty of Science



亞熱帶島嶼の特性を活かした
特色ある教育研究で
様々な問題を解き明かす

数理科学科

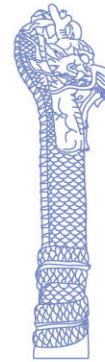
Department of Mathematical Sciences

物質地球科学科

Department of Physics and Earth Sciences

海洋自然科学科

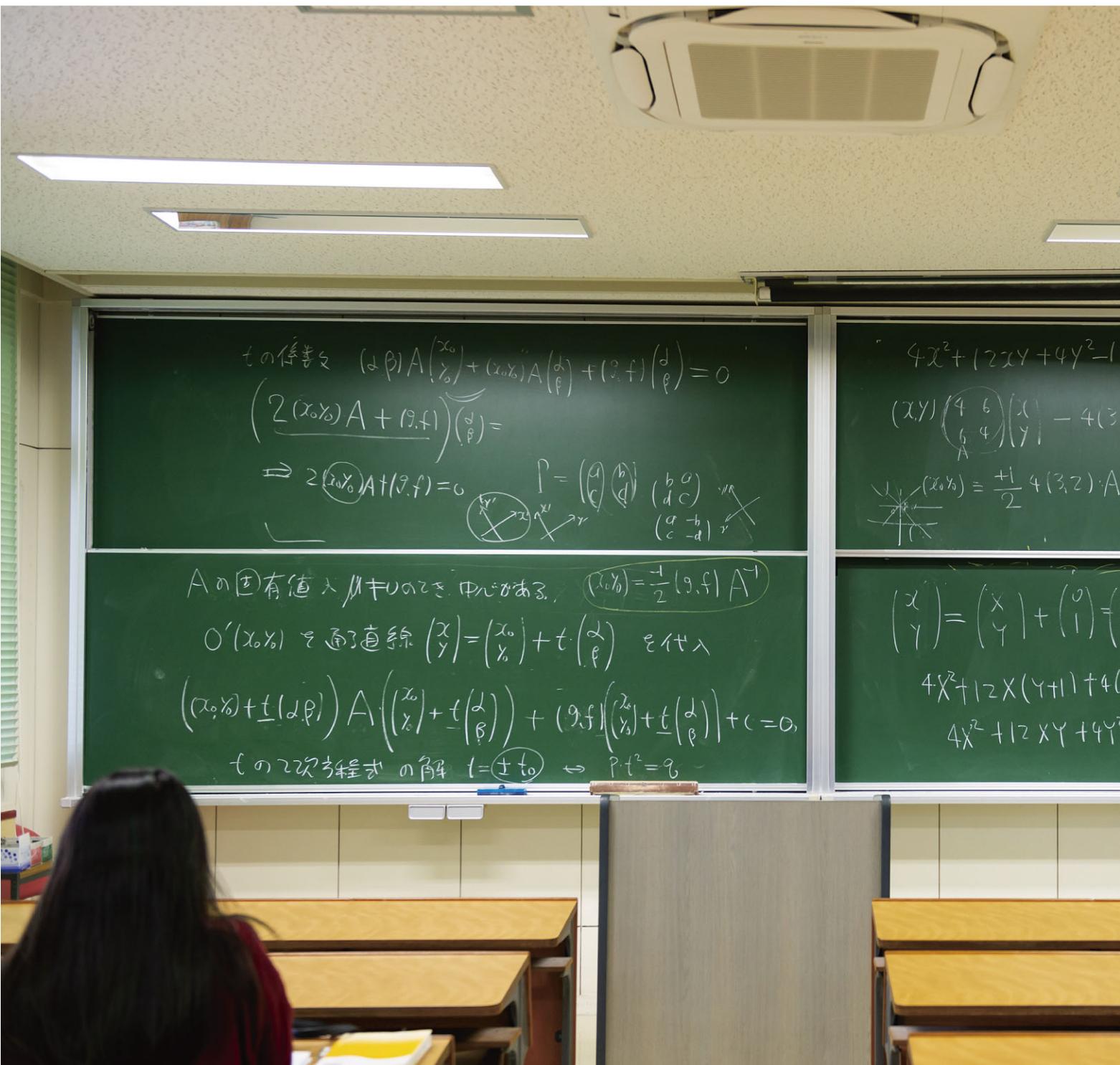
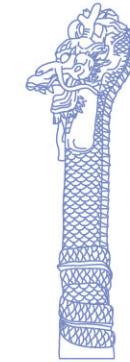
Department of Chemistry, Biology and Marine Science



現代社会を支える情報・科学技術の発展を担う
数学の専門家を養成するための教育を展開

数理科学科

Department of Mathematical Sciences



Admission Policy [求める人材像]

数理科学科では教育理念に基づいて、次のような人を求めています。

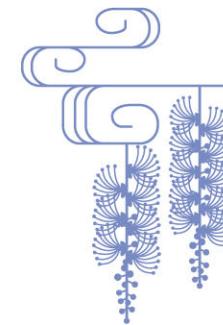
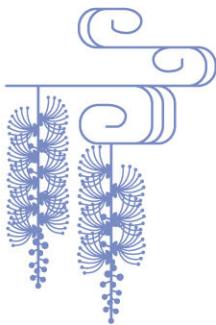
- 基礎的な数学の知識・思考力を備えている人
- 未知の数学に対する好奇心が旺盛である人
- 強い勉学意欲を持ち、積極的に数学を学び、修得した知識や技術等を社会に役立てたい志のある人

研究分野

- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| ● 代数幾何学 | ● 関数解析学 | ● 整数論 | ● 暗号理論 |
| ● 位相幾何学 | ● 特殊関数論 | ● 双曲幾何学 | ● 組合せ論 |
| ● 作用素環論 | ● 表現論 | ● 大域解析学 | |
| ● 確率論 | ● 数理統計学 | | |



高校で学ぶ三角関数や微分積分は医療機器であるCTスキャンに応用されています。インターネットの暗号通信には整数論や符号理論が使われています。確率論は経済学に応用され、保険数理人(アクチュアリー)になるには統計や確率の学修が必須です。このように、現代社会を支える情報・科学技術の運用には“大学で数学を修めた人材”が必要不可欠とされており、数理科学科ではコンピュータ関連をふくむ広範囲な分野の数学が学べるようになっています。また、数理科学科では中学校や高校の数学教員の養成も目標のひとつにしており、生徒が抱きがちな「なぜ数学をまなぶのか?」といふ疑問に向きあい、答えることができる教育理論の修得にも注力しています。



物質・素粒子・宇宙から大気圏・水圏・岩石圏まで
物理系と地学系の各分野に広がる専門学修

物質地球科学科

Department of Physics and Earth Sciences



物理系

物理学には物質の電気的、磁気的、光学的な性質などを研究する物性物理学、素粒子とその運動法則を探求する素粒子物理学、宇宙を対象とする宇宙物理学などの分野があります。物理系ではそういった分野の基礎が学べる科目を配置し、物理学を体系的に理解していきます。



地学系

上空の大気圏、海洋を主とした水圏、地上・地下の岩石圏、これらでの現象について、地質学・物理学・化学・生物学などの手法を用いて研究します。また、海に囲まれた亜熱帯島嶼という沖縄の特性を活かし、琉球島弧や周辺の海底の地質とその成り立ち、火山・地震の活動、サンゴ礁海域の地学的環境問題、黒潮、亜熱帯気象、台風などが研究できるのも特色のひとつです。

研究分野

物理系

- 物性理論
- 数理物理学
- 固体物理
- 宇宙物理学
- 固体物性
- 素粒子論
- 凝縮系物理

地学系

- 海洋物理学
- 海洋底地球物理学
- 海洋微古生物学
- 氣象学
- 海洋環境地学
- 岩石鉱物学
- 地震学
- 古生物学

Admission Policy [求める人材像]

物理系

物理系では教育理念・目的に基づいて、次のような人を求めていきます。

- 基礎学力を備え、科学的好奇心に富み、探究心や勉学意欲の強い人
- 科学的な基礎知識や思考法を学び、それらを社会人として生かしたい人
- 物理系の勉学を基に、広い意味での科学者として自らを磨く人

地学系

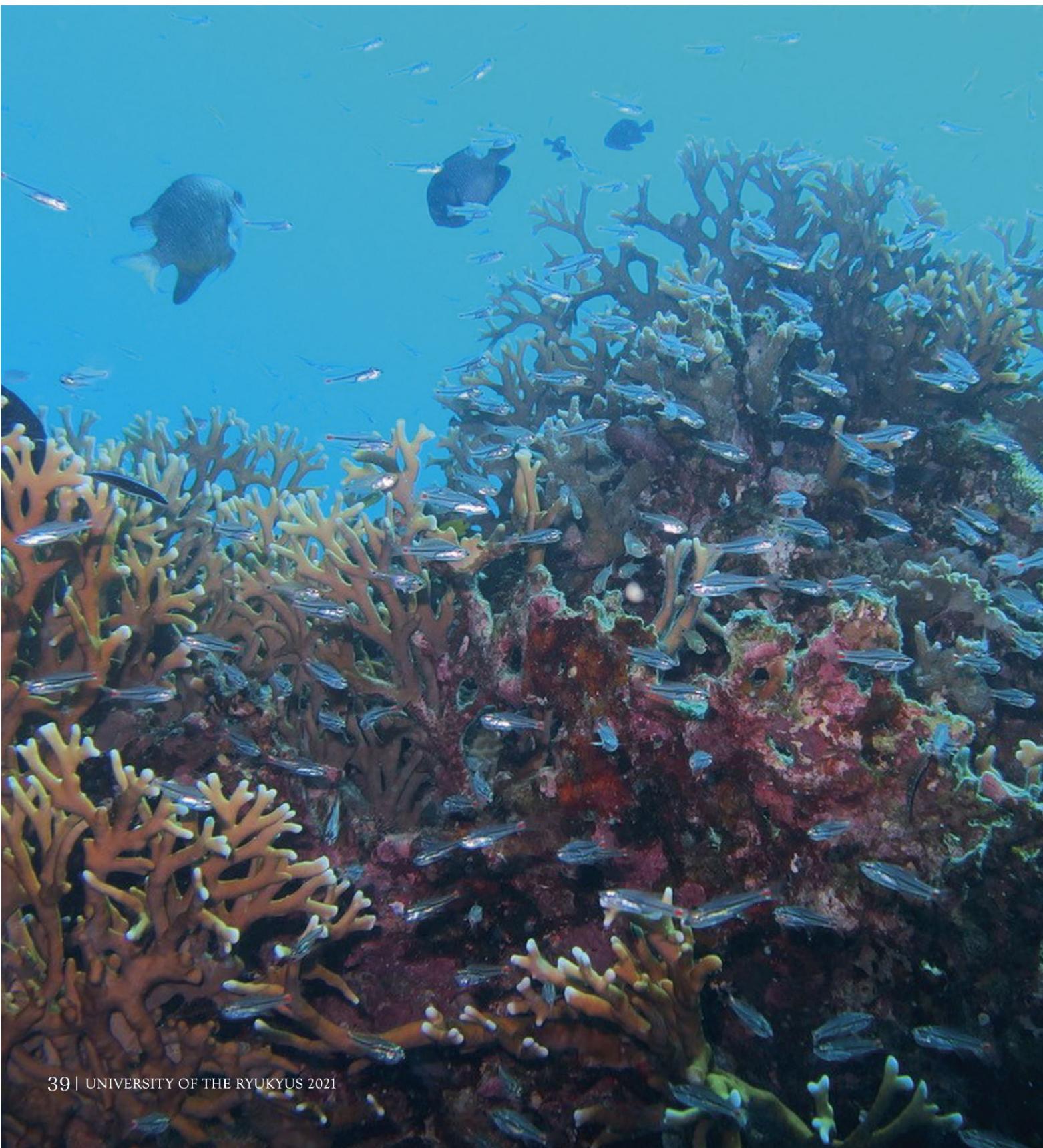
地学系では地球と海洋に関する自然現象に興味を持ち、意欲的に地球科学の知識を身に付け、探究心に富む人を求めていきます。特に熱帯・亜熱帯域の島弧や海洋で起きている自然現象に興味のある人を求めます。



亜熱帯島嶼・海洋地域の特性を活かした教育により
人と自然の共生に寄与する人材を育む

海洋自然科学科

Department of Chemistry, Biology and Marine Science



化学系

物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、海洋化学を学び、多様な物質の反応や構造、機能を分子科学的に学びます。また、物質の物性や構造、水素エネルギー、化学センター、新規物質の創成に関する基礎研究、越境物質の大気化学など亜熱帯島嶼・海洋の地域特性を活かした研究を行います。

研究分野

化学系	<ul style="list-style-type: none"> • 錯体化学 • 分析化学 • 物理化学 • 無機化学 • 機能材料化学・電気化学 • 水素貯蔵材料化学 • 環境化学 • 生化学 • 有機化学 • 有機合成化学 • 天然物化学 • 海洋天然物化学 • 地球化学 • 光化学・有機物理化学 • 放射化学 	生物系	<ul style="list-style-type: none"> • 植物分類学 • 動物生態学 • 植物系統進化学 • 植物生態学 • サンゴ礁生物生態生理学 • サンゴ礁学・生理生態学・海洋環境学 • 藻類細胞生物学 • 海洋無脊椎動物学 • 環境生理学 • 魚類学(魚類の生活史) • 植物細胞生物学 • 分子生理学 • 藻類学 • 頭足類学・動物行動学 • サンゴ礁生物生理学 • 魚介類分子遺伝生態学 • 海洋無脊椎動物学・分類学
-----	--	-----	---

Admission Policy [求める人材像]

化学系

化学系では琉球大学の求める学生像に従い、自然を化学の目を通して見ることに興味を持ち、本系が提供する教育カリキュラムで修得した知識や技術等を社会に還元し、学術研究の後継者、産業界をリードする技術者及び化学の教育を担う教師のみならず教育界のリーダー的存在となる人材を求めてています。したがって、化学系では次のような資質を持った人を求めています。

- 物質や自然環境の成り立ちについて興味を持っている人
- 化学を学ぶための基礎知識を備えた人
- 修得した化学の知識や技術等を社会に役立てたい人

【一般選抜】

上記の基本方針に基づき、基礎的な学力と思考力を備え、琉球大学で学ぶ強い意志を有し、本系で修得した知識や技術等を社会の役に立てたいという意欲のある人を求めています。

【学校推薦型選抜】

上記の基本方針に基づき、一般選抜と同等の基礎学力を有し、自然を探求することに意欲的な人を求めています。

生物系

生物系では、地域国際社会で生物学が果たすべき役割を視野に入れながら、琉球列島の豊かな自然環境を持つ特色を最大限に生かし、多様な生命現象とその根底にある基本原理の理解を目指した教育・研究を行っています。こうした理念のもと、生物系では次のような人を求めています。

- 多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に興味を持ち、深く学びたいという意欲のある人
- 自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動できる人
- 生物学を学ぶために必要な基礎知識を備えている人を求めています。

学校推薦型選抜では、これらに加えて、海洋の生物資源にも興味のある人を求めています。

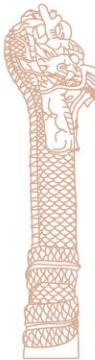
医学部

Faculty of Medicine



医学科
School of Medicine

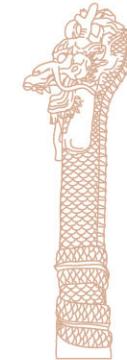
保健学科
School of Health Sciences



高度な学術能力に豊かな人間性を兼ね備え、
人々から信頼される医師を育む

医学科

School of Medicine



医学科は医学に関する専門の知識と技術を修得すると共に高い倫理性を身につけ、医学・医療の進歩や社会的課題に柔軟に対応できる医師や研究者を育成することを目的としています。加えて、沖縄県の自然的・地理的、および歴史的な特性をふまえ、島嶼環境における地域完結型医療の構築に努めます。また、国際性豊かな医学部・医学科として、アジアを中心とする諸外国・地域との学術交流を通じ、国際医療に寄与することもめざします。あわせて入学試験も通常の「前期・後期」の他、「学校推薦型選抜(地域枠)」と「2年次特別編入学(学士入学5名)」の計3種類を実施、多様な個性が切磋琢磨しあう環境を提供しています。



1年次 2年次 3年次 4年次 5・6年次

- 医学科は基礎系と臨床系の分野が有機的に関連しつつ教育・診療・研究の体制を整え、6年間の一貫教育を行います。
- 4年次1学期までは基礎医学系、臨床医学系の基礎的知識の修得、実験、実習が主となり、4年次2学期から患者さんを対象とした臨床実習を指導します。
- 5年次の総合試験Ⅰ、6年次の総合試験Ⅱ、Ⅲを経て医師国家試験を受験します。これに合格して初めて医師となりますが、2年間は初期臨床研修が義務づけられています。
- その際、各診療科は他の教育関連病院や地域医療施設と協力して卒業生の研修を指導します。
- 研修後、多くは大学病院や他の病院の臨床医として、さらに研磨を重ねます。医学の知識を活かして医系技官等に進む道もあります。
- また、臨床や生命科学、社会医学の発展をめざして研究に取り組む卒業生も多く、そのため大学院博士課程へ進学するのも選択肢のひとつです。

共通教育科目と 専門教育を 並行して学ぶ	なぜ病気になるのか メカニズムを 理解する	医学全体を 俯瞰できる力を 養う	臨床実習のための 共用試験に挑む	多様な実習を経て 医師国家試験合格 を目指す
共通教育科目と並行して専門教育もスタート。前期は分子細胞生物学など医学の基礎知識・最新医学トピックを学びます。早期体験学習を通じ後期は、人体の構造と機能、解剖学実習など基礎医学を学びます。	微生物・免疫学、薬理学などの基礎医学講義・実習を通じ病気が発生するメカニズムを学びます。後期には臓器別・部位別の臨床講義が始まります。医学外国语では論文情報収集・解析法を学びます。	3年次は臨床医学系講義に加え、離島地域病院実習と12月から基礎教室を中心とした医科学研究を取り組めます。教室で国内外の研究室の紹介を受け、医学研究を深める制度も用意しています。	前期は臨床推論、基本的臨床手技を学びます。衛生学・公衆衛生学など医学総論を受け、臨床実習実施前に標準評価試験として共用試験を実施します。試験合格者は後期より臨床実習に臨みます。	各診療科病院実習、内科などプライマリケアを中心クリニカルワークシップに臨み、医師業務に近い実習に参加します。総合試験などに合格し卒業見込みとなれば医師国家試験を受験します。

Admission Policy [求める人材像]

【一般選抜】

- 地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人
- 生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人
- 責任感が強く、人の身になって考え、行動できる人
- 常に自己点検を行い、自己啓発ができる人
- 創造性に富み、物事を理論的に整理・展開できる人
- 医学を学ぶ基礎学力を有する人
- 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶことができる人

【学校推薦型選抜】

- (大学入学共通テストを課す)(地域枠)
- 沖縄県の地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人
 - 地域の要請が高い診療科を選択し、診療科偏在の是正に貢献できる人
 - 生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人
 - 自分の置かれた社会的・地域的立場をしっかり意識できる人
 - 学習意欲の維持並びに自己学習ができる人
 - 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶことができる人

入学後に行う看護学か検査技術学のコース選択により、
地域や国際社会に貢献する保健医療福祉の専門識者へ

保健学科

School of Health Sciences



保健学科は、生命尊重の倫理観、科学的根拠に基づく実践力を有する看護師や臨床検査技師などの保健医療福祉の専門職者、および研究者・教育者の育成を目指しています。保健医療福祉の分野が対象とする国際社会や地域、個人には、多様な歴史背景、価値観、健康に関するニーズがあることから、生命倫理だけでなくこれらの問題にも対応できる人材を養成するための専門的な教育も充実させています。さらに保健医療福祉の専門職者に不可欠な生涯にわたる学習ができるよう、学生の自主性、思考力、探求力、問題解決能力を高める取り組みも行っています。入学試験では「前期・後期」のほか、「学校推薦型選抜」、「帰国子女」、「私費外国人」の計4種類を実施し、多彩な人材の獲得にも努めています。このように保健学科では、多種多様な学生がお互いを高めあいながら、日々研鑽を積んでいます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
保健学 共通 科目	主に大学の共通教育等科目を履修します。	「看護学コース」と「検査技術学コース」にわかれ、それぞれの専門科目を学修しながら病院、地域、学校などで臨地実習を行います。	3・4年次は各自が興味のある研究室で教員の指導を受けて卒業研究に取り組みます。なお保健学科では看護師、保健師、助産師、臨床検査技師の国家試験受験資格の取得の他、養護教諭や健康食品管理士の養成も行っています。	
看護学 コース	<ul style="list-style-type: none"> ● 生命倫理学や保健医療分野の早期理解を目的とした早期体験実習、保健福祉政策論、保健関係法規等を実施。 ● 第2クォーターに看護学概論、第4クォーターに生活援助看護技術Ⅰおよび生活援助看護技術実習Ⅰを病院で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 症候病態論、小児・母性・成人・高齢期等の看護師に必要な科目を実施。保健師や養護教諭の希望者を対象とする選択科目・教職科目を開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業研究に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 卒業研究に取り組み、後期の発表後は各自、国家試験の準備を本格化する。要望に応じて、教員による国家試験対策授業を実施。 ● 第1・2クォーターに小児・精神・成人急性期・成人慢性期看護学実習等の看護師に必要な臨地実習を実施。第3・4クォーターに助産師、保健師、養護教諭に必要な臨地実習を実施。
検査 技術学 コース		<ul style="list-style-type: none"> ● 免疫学、臨床血液学、臨床検査総論、病態生理学、医用電子工学、保健統計学等の臨床検査技師に必要な科目を実施。 ● 食品衛生学や健康食品学など、健康食品管理士希望者を対象とする選択科目を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 臨床微生物学、臨床病理学総論、臨床生理学、保健技術学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ等の臨床検査技師に必要な科目を実施。 	

Admission Policy [求める人材像]

本学科は看護、臨床検査、国際・地域保健等の分野でリーダーシップを発揮し、活躍できる人材の育成を目指します。

そのため、以下の資質を備えている人を求めています。

- 生命科学、保健・医療・福祉に強い興味と関心を持ち、主体的に学ぶ意欲のある人
- 生命を尊重し、相手の身になって行動できる人
- 自らの目標に向かって自己啓発し、多様な人々と協働ができる人
- 論理的に物事を考え、科学的に解決する意欲のある人



工学部

Faculty of Engineering



工学科

School of Engineering

機械工学コース

Mechanical Engineering Program

エネルギー環境工学コース

Energy and Environment Program

生活を豊かにする工学技術を学び
社会に貢献

電気システム工学コース

Electrical and Systems Engineering Program

電子情報通信コース

Electronic and Communication Engineering Program

社会基盤デザインコース

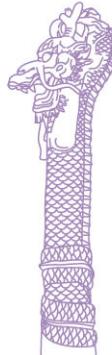
Civil Engineering Program

建築学コース

Architecture and Building Engineering Program

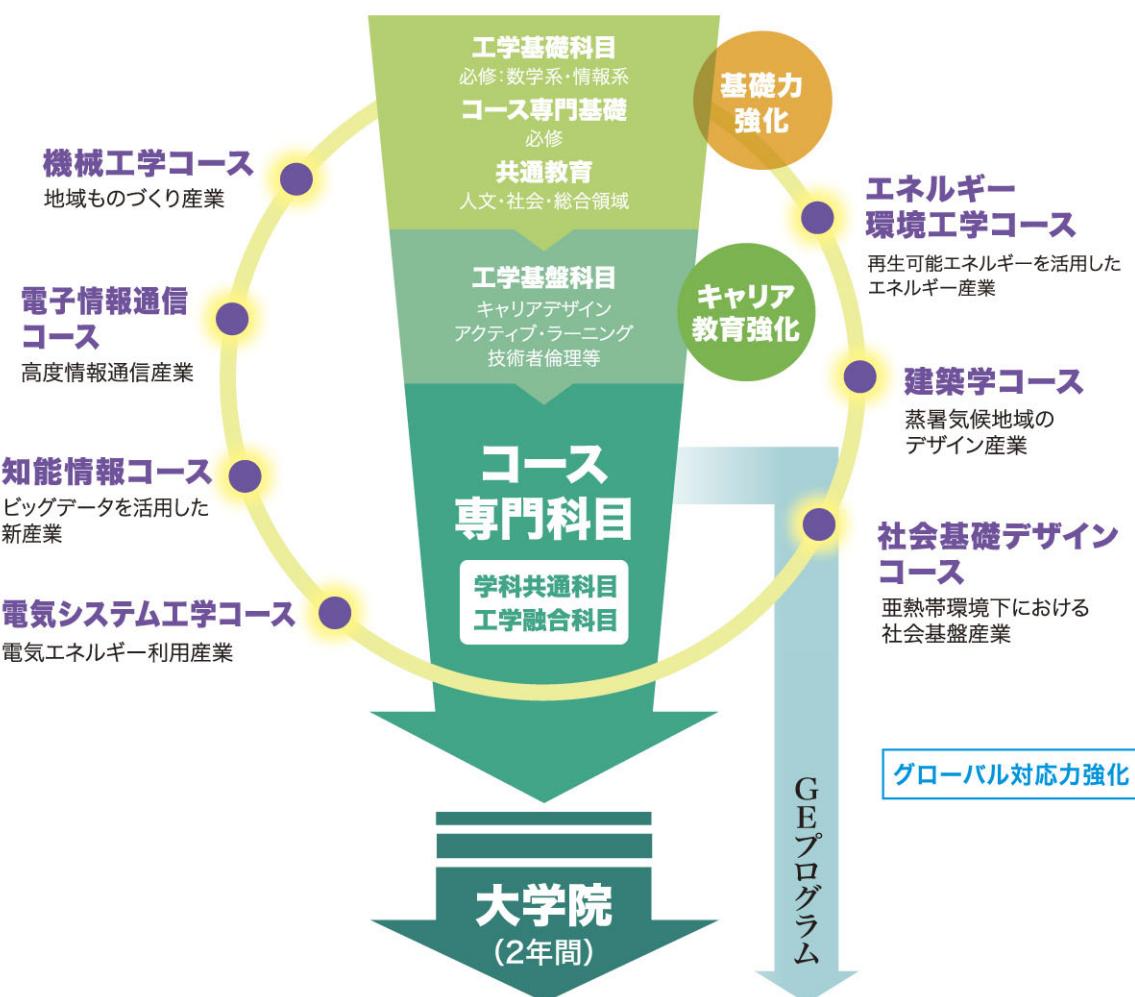
知能情報コース

Computer Science and Intelligent Systems Program



新産業や新たな価値の創造に取り組む
7コースと6年間一貫教育のGE*プログラムを設置

工学科
School of Engineering



Admission Policy [求める人材像]

- 工学を学ぶ意欲と目的意識を有し、高等学校で学んだ基礎学力を身に付けた人
 - 修得した知識等を活用するための思考力、判断力、表現力を身に付けている人
 - 様々な諸課題を与えられた条件下で最良の結果を得るために主体的に努力できる人

【一般選拔(前期日程、後期日程)】

十分な基礎学力を有し、特に数学ならびに物理に優れている人。

【総合型選抜】

十分な基礎学力を有するとともに、高いコミュニケーション能力をもち、各コースの専門分野に対する学習意欲が強い人。自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に活動してきた人。

【学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す)】

十分な基礎学力を有し、高等学校において優秀な成績を修め、積極的に活動してきた模範的な人。各コースの専門分野への強い向学心を有する人。

従来の機械システム工学を学びつつ、次世代の
“ものづくり”におけるスペシャリストを養成

機械工学コース

Mechanical Engineering Program



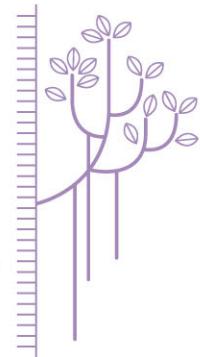
機械工学コースでは、ものづくりに関する科目を初年次から体系的に学んでいくことが可能で、材料力学、機械材料および加工学、流体力学、熱力学、機械制御などの広範囲におよぶ機械工学の基礎を学び、多様な分野への応用ができるようになっていきます。機械工学はあらゆる産業の基幹となり、就職先からのニーズも高く、卒業生はさまざまな分野で活躍しています。グループワークによる実践的な科目を通じ、コミュニケーション、問題解決、自立した“ものづくり”能力を育むことができます。

研究分野

- | | | | |
|--------------------------|------------|----------------|------------|
| ● 金属疲労 | ● 無機材料 | ● 流体計測 | ● バイオディーゼル |
| ● 材料の損傷検知 | ● 超音速流れ | ● マイクロバブル | ● 燃料電池 |
| ● 数値シミュレーション | ● 衝撃波 | ● 熱物質移動工学 | ● パソコンの冷却 |
| ● ゴムの力学 | ● ジェットエンジン | ● 太陽熱利用 | ● 知的制御 |
| ● 亜熱帯資源(バガス、月桃等)を用いた複合材料 | ● 数値流体力学 | ● 海水濃縮技術 | ● 自動車の自動操縦 |
| ● 高分子工学 | ● 乱流制御 | ● エネルギーの有効利用 | ● 海洋ロボット |
| | ● 流れの可視化 | ● 内燃機関(エンジン)工学 | ● ロボット制御 |



さまざまな分野のエネルギー環境問題を
総合マネジメント力で複合的に解決できる
知識と技術を学ぶ



エネルギー環境工学コース

Energy and Environment Program



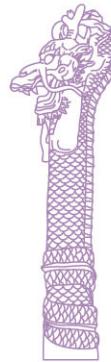
エネルギー環境工学コースは、将来のエネルギー供給や環境保全・共生など、私たちが生きていくうえで重要な課題となっている、いわゆるエネルギー環境問題を機械・電気工学という学問によって解決しようとする人材を育成します。環境に配慮した材料などの専門的知識を駆使し、効率的なエネルギー変換や制御、環境負荷を低減する技術の開発を行い、さまざまな分野での利用へとつなげていける統合マネジメント力とコミュニケーション基礎能力のある技術者にまで成長することをめざします。

研究分野

- | | | | |
|--------------------|--------|---------|-----------|
| ● 流動及び
熱・物質移動工学 | ● 数理工学 | ● 材料加工学 | ● 热力学 |
| ● 材料力学 | ● 塑性力学 | ● 流体工学 | ● 分子熱流体工学 |
| ● 相転移論 | | | |

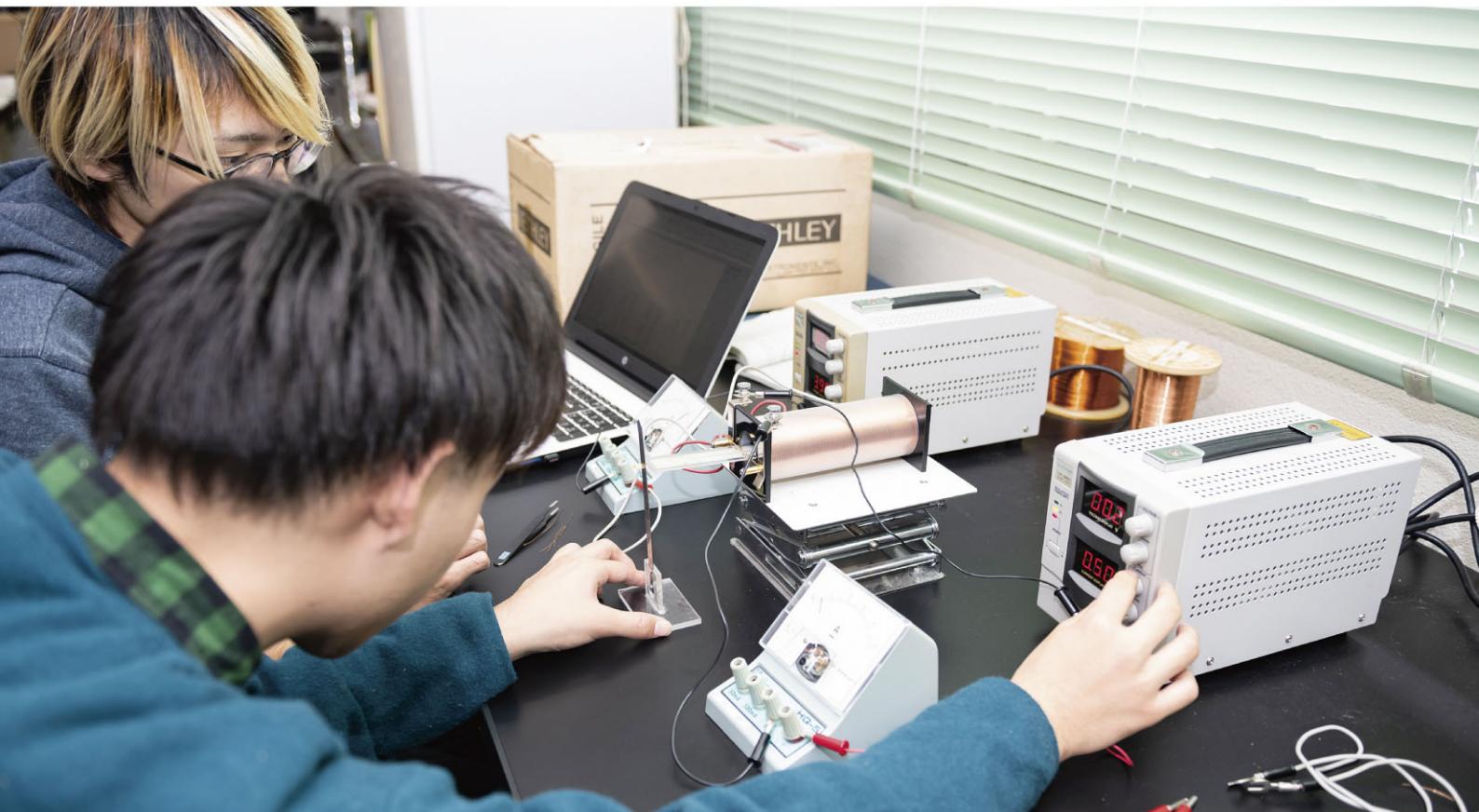


再生可能エネルギー・スマートヘルスケア、
私たちの豊かな暮らしを電気システムでもっと豊かに



電気システム工学コース

Electrical and Systems Engineering Program



電気エネルギーは私たちが暮らす社会では必要不可欠です。しかし今、環境問題解決のために電気エネルギーのあり方を変える技術が求められています。電気システム工学コースでは、再生可能エネルギー、新電力システム・スマートグリッド、ロボット、スマートヘルスケアなど社会のニーズに応えられる電気工学や工業数学、システム工学の専門知識を学べます。また幅広い教養と語学を習得できコミュニケーション能力を育みます。電気主任技術者、電気工事士などの資格取得も可能です。

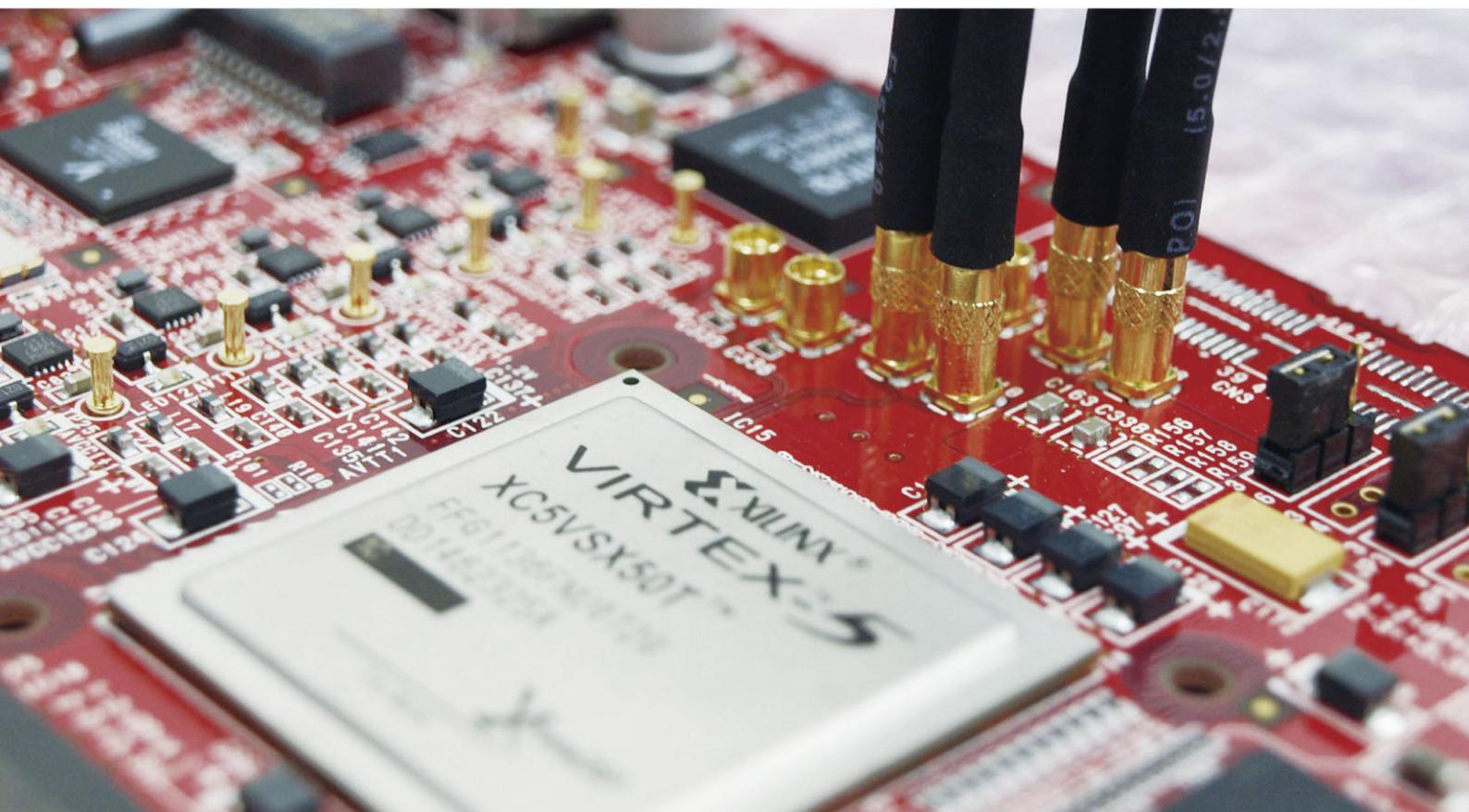
研究分野

- 電力システム工学
- 電気機器工学
- 生体医工学
- パワーエレクトロニクス
- プラズマ工学
- 制御工学
- 電力エネルギー変換工学
- 磁気工学

すべての産業基盤となる技術を習得・実践し、
安全・安心・健康で豊かな社会を実現する技術者を育成

電子情報通信コース

Electronic and Communication Engineering Program



電子情報通信コースでは、すべての産業を支える基盤技術である電子情報通信技術について学び、高度な専門知識を身につけ、新たな応用分野を切り拓くことができる人材育成をめざしています。持続可能な社会を実現するには、発電、組込、計測、高速大容量の情報通信技術等の開発が今まで以上に重要です。また最近では、さまざまな機器がインターネットに接続され、新しい社会変革が始まっています。当コースでは、これらの技術を幅広く体系的に学べる実践的なカリキュラムを用意しています。

研究分野

- | | | | |
|--------------|-------------------------------|--------------|----------|
| ● 電子物性工学 | ● ディジタルシステム設計、
ディジタル通信システム | ● ハードウェア記述言語 | ● 無線通信工学 |
| ● 量子計算機工学 | ● 信号処理 | ● 誘電体工学 | ● 計算知能工学 |
| ● 有機エレクトロニクス | ● 画像工学 | ● 薄膜半導体素子 | |
| ● 集積回路設計工学 | | ● 光計測工学 | |

自然環境調和型の社会基盤づくりと
環境問題の解決に貢献できる専門技術者を育成

社会基盤デザインコース

Civil Engineering Program



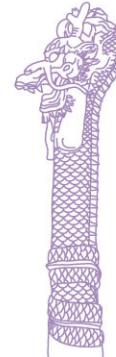
社会基盤デザインコースでは、亜熱帯性・島嶼性・海洋性の地理的特性を活かし、自然環境に調和した空港や道路、橋、鉄軌道など公共交通システムや、地域の観光リゾート産業を支える持続可能な社会基盤を創り、気候の変動や新エネルギー開発に関わる海洋・海底資源の開発、防災・減災、環境保全などのグローバルな諸問題解決に貢献できる専門技術者を養成します。持続可能な社会基盤をデザインするためには必要な多面的な視点から計画・設計・建設・維持管理までを体系化した専門知識を修得できます。

研究分野

- | | | | |
|---------------|--------|----------|------------|
| ● 災害リスクマネジメント | ● 海洋環境 | ● 地盤環境工学 | ● 建設材料学 |
| ● 環境計画 | ● 河川工学 | ● 鋼構造工学 | ● コンクリート工学 |
| ● 景観計画 | ● 流体力学 | ● 腐食防食 | ● シミュレーション |
| ● 海岸工学 | ● 岩盤工学 | ● 維持管理工学 | ● 計算力学 |



人・自然・社会という3つの資源共生を考慮し、
ソーシャルデザイン設計ができる建築技術者を養成



建築学コース

Architecture and Building Engineering Program



建築学は、人間が安全・安心・豊かに生活するための生活空間を築く知識と技術の体系です。自然災害への理解、風雨が建物に与える影響、建築材料の知識、丈夫な建物をつくる技術が必要です。快適な建物を実現するために、人と環境の関係から空気やエネルギーの流れを考慮します。さらに文化的側面や、都市計画まで包括します。建築学コースでは沖縄の特色ある自然、文化、社会のもとで地域に根差した建築を探求しながらも、普遍的な技術を習得し、国内外で活躍できる建築技術者を養成します。

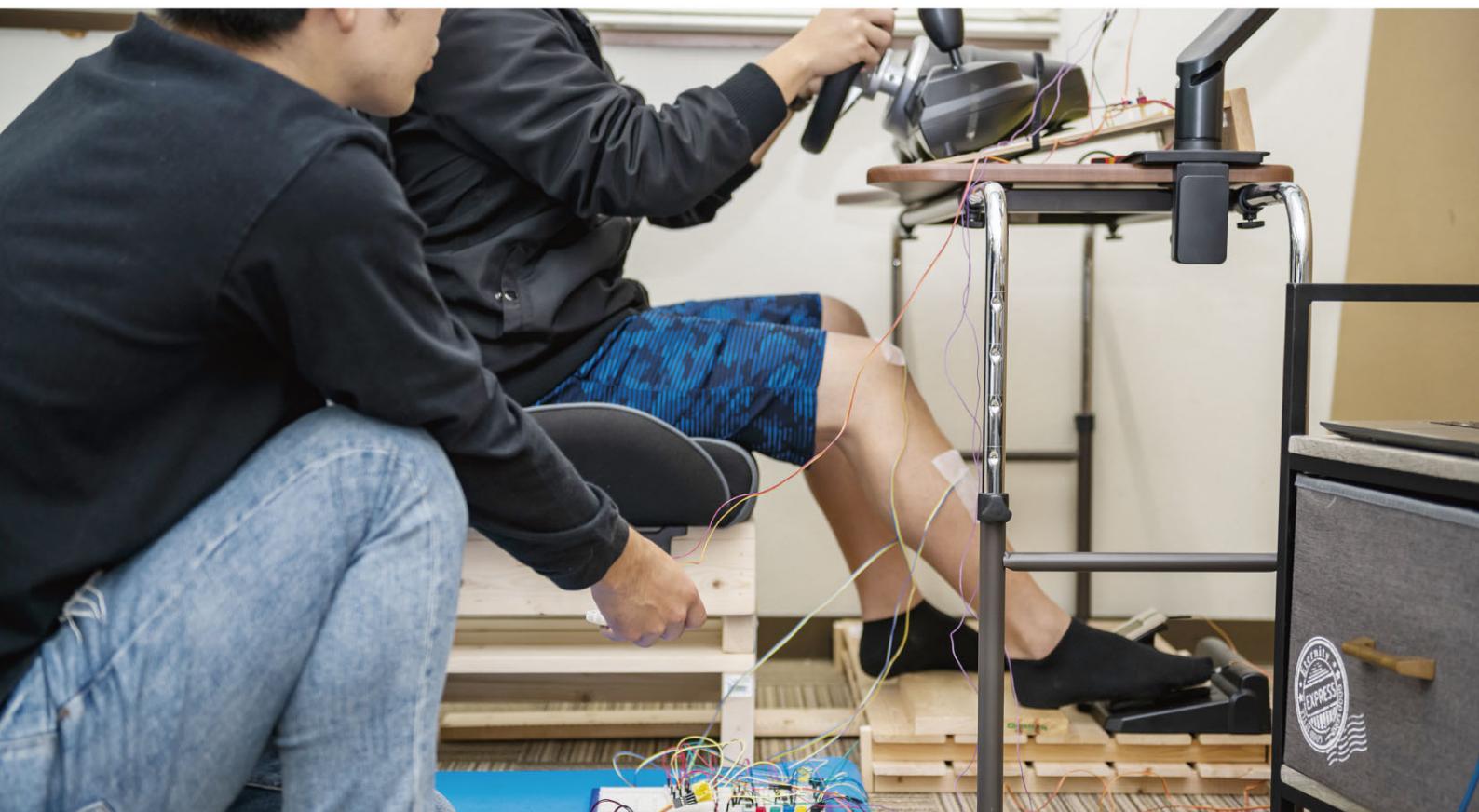
研究分野

- | | |
|----------------|-------------|
| ● 建築材料学 | ● 都市・建築環境工学 |
| ● 建築構造学 | ● 建築計画学 |
| ● 都市計画・ランドスケープ | |

より良い情報社会実現のために高度な技術と柔軟な発想力・温かな人間性を備えた人材を育成

知能情報コース

Computer Science and Intelligent Systems Program



「情報通信産業の高度化・多様化」が沖縄県策定の「21世紀ビジョン」構想実現における大きな原動力として期待されています。本コースでは、①コンピュータシステム②コンピュータ応用(ロボット・人工知能等)③情報通信の3分野に加え、④データサイエンス(ビッグデータ収集分析等)⑤ネットワークセキュリティという新しい2つの分野の研究環境も充実しています。世界的競争力のあるイノベーションを創出できる技術者、高い技術力、柔軟な創造力と温かな人格を備えた人材を育成します。

研究分野

- | | | | |
|--------------|------------------|------------|--------------|
| ● 数理統計学 | ● 情報メディア工学 | ● 人工知能 | ● 創発知能ロボット工学 |
| ● デジタル通信システム | ● ネットワークシステム情報工学 | ● 生体情報システム | ● 複雑系工学 |
| ● システム数理 | ● ネットワークモデリング・制御 | ● 並列計算 | |
| ● ハードウェア記述言語 | ● ディジタルシステム設計 | ● 知的信号処理 | |

農学部

Faculty of Agriculture



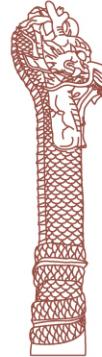
亞熱帶地域に位置する
国内唯一の農学部
研究フィールドは目の前に

亞熱帶地域農学科
Department of Subtropical Agro-Production Sciences

亞熱帶農林環境科学科
Department of Subtropical Agro-Environmental Sciences

地域農業工学科
Department of Regional Agricultural Engineering

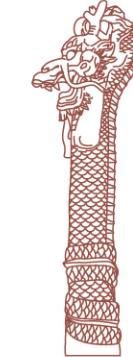
亞熱帶生物資源科学科
Department of Bioscience and Biotechnology



国際的視点から地域の農林水産業の振興を
促す人材や農業と地域社会の共生の仕組みが
構築できる人材を育成

亜熱帯地域農学科

Department of Subtropical Agro-Production Sciences



農林経済学コース

持続的食料自給システム、都市と農山村との循環型社会、農業政策学、農産物流通学、森林政策学、森林環境経済学、アグリビジネス論、比較林政学、森林経営計画学など。

植物開発学コース

亜熱帯地域に適応した植物育種の展開、未利用植物資源の開発および持続的生産技術の構築、基礎遺伝学、熱帯果樹園芸学、蔬菜園芸学、鑑賞植物園芸学、植物開発学演習、園芸学実験など。

循環畜産学コース

家畜生産を通じた地域資源循環型農業、熱帯草地学、熱帯畜産論、家畜飼料学、家畜環境管理学、家畜行動管理学、家畜衛生管理学実験など。

農林共生学コース

フィールドを活用した動植物生産、人間と動植物の多面的関係を通じた新たな農林共生、緑化修景施工論、園芸福祉学概論、作物栽培環境学、畜産共生技術論、畜産周辺関係学、森林ツーリズム論、森と人間の文化論、森林情報計測学など。

Admission Policy [求める人材像]

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発および研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

○国際的な視点で地域農林畜産業の振興に貢献したい人

○地域生物資源の循環システムに基づく持続的農業生産に取り組みたい人

○農業と地域社会との共生の仕組みを考えたい人

【一般選抜では特に次のような学生を求めます】

○農学を広く学ぶうえで基礎的な知識・技能を習得した人

【総合型選抜では特に次のような学生を求めます】

○琉球大学農学部に入学することを強く望み、地域社会に貢献する強い意志をもつ人

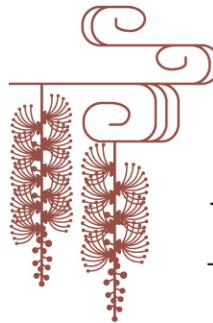
○高校生のときに熱意をもって取り組んだ活動実績がある人

【学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課さない)では特に次のような学生を求めます】

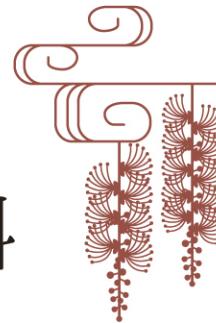
○農林畜産業の分野に関心があり、社会(または地域社会)に貢献する強い意志をもつ人

研究分野

- 森林政策学
- 花卉園芸学
- 家畜管理学
- 里山環境学
- 森林経済学
- 蔬菜園芸学
- 熱帯植物栽培学
- 畜産学・草地学
- 農業経済学
- 植物育種学
- 緑地管理学
- 森林計画学
- 農業市場学
- 家畜栄養学



植物と動物の生産や環境に関する分野で
活躍する人材、琉球弧や地球レベルの
生態系保全に貢献できる人材を育成



亞熱帶農林環境科学科

Department of Subtropical Agro-Environmental Sciences



植物機能学コース

作物の生理・生態的特性を基礎にした効率的なバイオマス生産と利用、バイオ燃料の生産、沖縄型植物工場の開発、植物に発生する各種病害の発生・生態と生物的防除法について。

森林環境学コース

森林生態系や都市の緑の保全と森林資源の利用、自然災害の軽減を考慮した森林造成、森林や樹木の保護、流域管理の理論と実践について。

動物機能学コース

熱帯・亜熱帯で飼われている動物を対象に、環境との相互作用の視点から動物の遺伝育種・繁殖・生理・形態などの特性解明と関連する技術の開発について。

生態環境科学コース

昆虫を中心とする野生動物と土壤環境の特性・機能の解明と利用技術について。

Admission Policy [求める人材像]

沖縄の亞熱帶島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発および研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

- 生物資源・環境の機能や特性の解明に興味をもつ人
- 生物生産と自然環境との調和を目指す人
- 生物多様性の理解を通じて環境保全に貢献したい人

【一般選抜では特に次のような学生を求める】

- 農学を広く学ぶうえで基礎的な知識・技能を習得した人

【総合型選抜では特に次のような学生を求める】

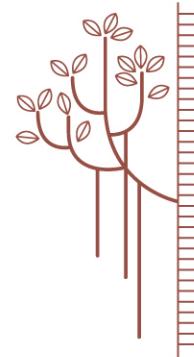
- 琉球大学農学部に入学することを強く望み、地域社会に貢献する強い意志をもつ人
- 高校生のときに熱意をもって取り組んだ活動実績がある人

【学校推薦型選抜では特に次のような学生を求める】

- 生物生産・資源や自然環境の分野に关心があり、社会(または地域社会)に貢献する強い意志をもつ人

研究分野

- | | | | | |
|---------|-----------|----------|-----------|---------|
| ● 作物学 | ● 動物機能形態学 | ● 林業学 | ● 森林保護学 | ● 進化生態学 |
| ● 植物病理学 | ● 家畜ゲノム科学 | ● 森林生態学 | ● 生態学・環境学 | ● 土壤学 |
| ● 家畜育種学 | ● 家畜生理学 | ● 総合流域管理 | ● 植物栄養学 | ● 保全生物学 |
| ● 家畜繁殖学 | ● 流域森林保全学 | | | |



食糧資源・エネルギー・環境が調和した
持続可能な低炭素型社会の実現をめざして

地域農業工学科

Department of Regional Agricultural Engineering



バイオシステム工学コース

機械工学や情報工学を応用、農業の生産・流通・食品加工の効率化を図ると共に、亜熱帯・島嶼環境に適した持続的生産システムとバイオマスなどの再生可能エネルギー・システムの構築に関する教育・研究を行います。

地域環境工学コース

JABEE・日本技術者教育認定機構（JABEE）プログラム／水・土・大気の基本的な性質の理解を土台に、土木・環境工学を活用して環境調和型の基盤システムや農地を整備し、美しい景観と土砂災害のない安心かつ安全な農村の創成と保全に関する教育・研究を行います。



Admission Policy [求める人材像]

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発および研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身につけ、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

- 農業生産から流通・加工に係わる食料システムの構築に興味がある人
- 豊かな農村空間の創出、確かな農村基盤の整備、防災および農村環境の保全に関心がある人
- 農と自然との調和に関する工学的探究に興味がある人

【一般選抜では特に次のような学生を求める】

- 農学を広く学ぶうえで基礎的な知識・技能を習得した人

【総合型選抜では特に次のような学生を求める】

- 琉球大学農学部に入学することを強く望み、地域社会に貢献する強い意志をもつ人
- 高校生のときに熱意を持って取り組んだ活動実績がある人

【学校推薦型選抜では特に次のような学生を求める】

- 農業・農村の環境や農業生産システムに関心があり、社会(または地域社会)に貢献する強い意志をもつ人

研究分野

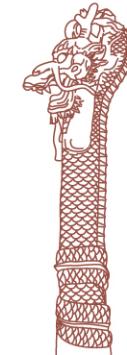
- | | | | |
|---------|-----------|------------|------------|
| ● 農業土木学 | ● 水利環境 | ● 自然災害科学 | ● 農業情報工学 |
| ● 農村計画学 | ● 土地環境保全学 | ● 農業食料工学 | ● ポストハーベスト |
| ● 農業水文 | ● 地下水工学 | ● 生産システム工学 | ● 農産施設工学 |
| ● 農業造構学 | ● 農村環境保全 | ● 農業環境工学 | ● 農業機械学 |



亜熱帯の沖縄は生物資源と食資源の宝箱。
私たちと一緒に宝探しの旅に出よう！

亜熱帯生物資源科学科

Department of Bioscience and Biotechnology



生物機能開発学コース

亜熱帯の生物資源の機能特性を分子から生体レベルで追求し、人類の福祉に有効な機能性素材の開発や利用に関する専門的知識を修得します。

食品機能科学コース

食品の機能性を健康維持、増進の観点から追求し、新たな食品素材を開発すると共に、健康生活の向上に関する専門的知識を修得します。

発酵・生命科学コース

地域特性を生かした発酵食品の開発、ならびに亜熱帯生物資源の生命現象の解析とその応用に関する専門的知識を修得します。

健康栄養科学コース

人間栄養学の観点から食を科学的かつ実践的にとらえ、地域の特性を考慮した健康・長寿社会の実現に関する専門的知識を修得します。

Admission Policy [求める人材像]

沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発および研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる次のような人を求めています。

- 生物資源の利用・開発およびバイオテクノロジーに関心のある人
- 健康の保持増進に有効な機能性食品の開発に興味をもつ人
- 発酵科学を通じて食品・医薬産業に貢献したい人

健康栄養科学コースでは現代社会の抱える様々な健康をめぐる諸問題に向き合い、栄養学と食育などを通じて社会発展に寄与する意欲のある次のような人を求めています。

- 栄養学・食育を通じて地域社会の健康の保持増進に貢献したい人

【一般選抜では特に次のような学生を求めます】

- 農学を広く学ぶうえで必要な基礎的な知識・技能を習得した人

【総合型選抜では特に次のような学生を求めます】

- 琉球大学農学部亜熱帯生物資源科学科で意欲的に学ぶことを強く望み、主体性をもって社会に貢献する強い意志をもつ人
- 現在までに主体性をもって多様な人々と協働して学んだ活動実績がある人
- 健康栄養科学コースでは、上記に加え、栄養士の専門性を活かしたリーダーとして幅広く社会で活躍したい人

【学校推薦型選抜では特に次のような学生を求めます】

- 亜熱帯生物資源の機能開発や高度利用に関心があり、社会に貢献する強い意志をもつ人(健康栄養科学コースでは、学校推薦型選抜を行いません)

研究分野

生物機能開発学コース

- 糖鎖科学
- 林産科学
- 多糖類機能化学
- 遺伝子工学
- 生物活性物質学

食品機能科学コース

- 栄養生化学
- 食品化学
- 食品機能学

発酵・生命科学コース

- 発酵微生物学
- 応用微生物学
- 微生物利用学
- 釀造微生物学
- タンパク質工学

健康栄養科学コース

- 食品分析学
- 紹食管理・食育
- 健康栄養学
- 食品学・栄養指導
- 食品成分化学

文化系

- ◆ 軽音楽部
- ◆ 地域医療研究会
- ◆ 热帶医学研究会
- ◆ 中国医学研究会
- ◆ IFMSA-Ryukyus
- ◆ 国際協力サークル (URIC)

△医学部△

- ウエイトトレーニング部
- フィッシング部
- 馬術部
- ソフトテニス部
- 柔道部
- ラクロス部
- 格闘技・トレーニング同好会
- チアリーディング部
- ウィンドサーフィン部

- 弓道部
- 準硬式野球部
- ラグビー部
- 水泳部
- バドミントン部
- パレーボール部
- ボードセイリング部
- 剣道部
- サッカー部
- バスケットボール部
- ハンドボール部
- 体操部
- 脳道部
- Ryukies(フットサル)
- 合氣道部
- サッカー部
- 剣道部
- 競歩サークル
- 空手道部
- ゴルフ部

△医学部△

CLUB & CIRCLE

- アカペラサークルうたゆん
- 生物クラブ
- フォーククラブ
- 作物園芸サークル
- スタジオジャグリング (ジャグリング)
- 琉球大学法政エイサー
- カスタム琉大(自動車)
- ウミガメ研究会
ちゅらがーみー
- 書道部
- 写真部
- 管弦楽団
- こなもん。(料理)
- 吹奏楽部
- e スポーツサークル
- 漫画研究会
- ロック同好会
- ライトノベルサークル
- 演劇部劇団テトラ
- JAZZ 研究会
- 中国語サークル
- モダンジャズオーケストラ
- スターダスト(天文)
- 映画研究会
- IoT組込みサークル(工学)
- なんでも屋「ウーズマカッパ」
- 将棋部
- 文芸部
- 囲碁部
- 競技かるたサークル
- 電子工作サークル
- 茶道研究クラブ
- 放送クラブ
- 琉球芸能研究クラブ
- アートクラブ
- 落語研究会
- 社会科学研究会

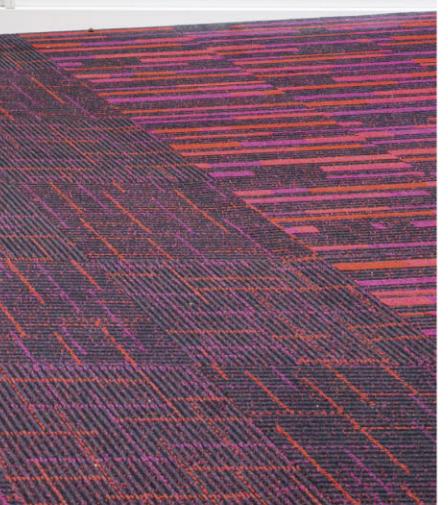
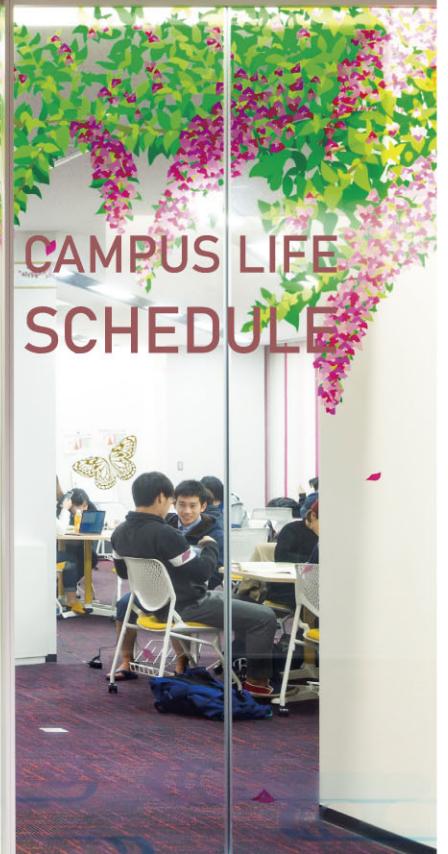


体育系

卒業式

入学式

- | | |
|-----------|---|
| April | ■ 新入生オリエンテーション
■ 前学期授業開始 |
| May | ■ 体育祭
■ 開学記念日 |
| June | ■ 教育実習開始 |
| July | ■ 留学生まつり ■ 前学期期末試験
7/11 オープンキャンパス(検討中) |
| August | ■ 英語全学統一テスト ■ 夏季休業
東京(8/20)大阪(8/21)オープンキャンパス |
| September | ■ 後学期授業登録 ■ 夏季休業 ■ 琉大祭
総合型選抜(第1次選考) |
| October | ■ 後学期授業開始
総合型選抜(第2次選考) ビジットキャンパス |
| November | ■ 稀に冷房(エアコン)を使います
名古屋オープンキャンパス |
| December | ■ 留学生等親善交流会 ■ 冬季休業
学校推薦型選抜 |
| January | ■ 後学期(後半)授業開始
大学入学共通テスト |
| February | ■ 後学期期末試験 ■ 春季休業
一般選抜(前期日程) |
| March | ■ 卒業式 ■ 春季休業
一般選抜(後期日程) |





CAMPUS MAP

69 | UNIVERSITY OF THE RYUKYUS 2021

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS 2021 | 70

施設紹介① 附属図書館

「知の殿堂」

沖縄・国際関連コンテンツの充実をはじめ、琉球大学の独自性を色濃くあらわす



千原キャンパスの附属図書館本館(志喜屋記念図書館)と上原キャンパスの医学部分館とで、合わせて約100万冊の蔵書を備え、琉球大学の教育研究活動を支えています。沖縄県唯一の国立大学として国内外の沖縄研究資料を積極的に収集しているほか、国連寄託図書館とEU情報センターに指定されていることから国際的な資料も充実しており、県内外から広く利用されています。そうした資料と共に、館内には様々なコンセプトの利用エリアを設け、学生の多様な学修活動をサポートしています。



充実した学修支援体制

● 豊富な学生用図書

学生や教職員からのリクエストも受けながら、毎年約1万冊の図書を購入し、琉球大学の幅広い分野の学修活動を支援しています。紙の資料だけではなく、館外からインターネットを通して利用できる電子資料も多数揃えています。

● 沖縄研究資料の利用サポート

デジタル化した上で現代語訳や英訳を受けた貴重書画像や、沖縄関係の文献情報を収録したデータベースをインターネット上で公開し、琉球大学ならではの沖縄研究資料の利用を強力にサポートしています。

● 学外資料の利用支援

琉球大学が所蔵していない資料については、県内外の他の図書館から取り寄せ利用できるサービスを提供しています。

● 多彩な学修エリア

一般的な閲覧席だけでなく、会話ながらのグループ学修やプレゼンテーションに適したエリア、パソコンを配置したエリア、一人で集中して学修できるエリアなど、学修方法に応じて選ぶことができる多彩な学修エリアを用意しています。

● グローバル化支援

館内には留学や語学学習のための資料や支援が充実したエリアを用意しています。自由に会話のできるスペースですから、グループで声を出して外国語会話の練習をすることもできます。

● きめ細かな学修サポート

資料や情報の調べ方や使い方をわかりやすく説明したガイドブックや講習会などを用意しているほか、サービスカウンターでも随時サポートします。



施設紹介② 風樹館

沖縄の自然と文化をテーマに約20万点の学術資料を収蔵

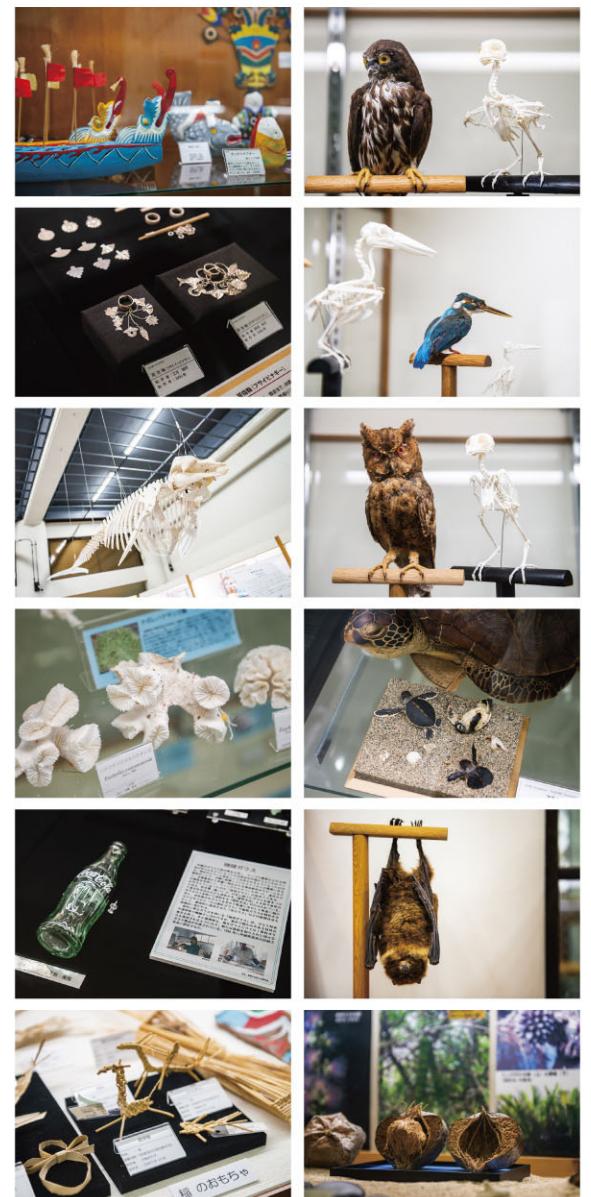


琉球大学には附属の博物館があります。農学部のすぐ近くにあるレンガ造りの丸い建物が博物館で、通称「風樹館」と言います。ここには、約20万点の資料が収蔵されており、学内外の教育や研究に活用されています。また、地域の学校教育や生涯学習への教育支援活動なども行っており、地域に開かれた大学博物館を目指しています。

上段は文化系展示室、中段下段は自然系展示室



1階の常設展示室では、沖縄の自然や文化を特徴づける約4,000点の資料が展示されています。展示資料の中には、世界で最初に発見されたイリオモテヤマネコの標本や首里城に設置されていた日時計の破片など、貴重な資料が数多く含まれています。また、すぐ隣には「学校ビオトープ見本園」が設置されており、様々な昆虫や植物、島ヤギなどが観察できます。



施設紹介③ 学外施設



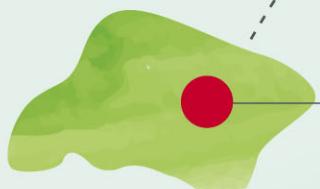
瀬底研究施設

熱帯生物園研究センター

日本で唯一、熱帯・亜熱帯環境下にある共同研究拠点。西表島と瀬底島にある各研究施設と千原キャンパス内のふたつの研究施設が連携し、地域の生物の生態的特性や多様性、人の健康・環境との相互作用などの解明を進めています。瀬底研究施設には、サンゴ礁生物研究の国際的拠点となる共同研究施設を整備し、24時間体制で研究できる宿泊室も完備しています。



西表島



西表研究施設



那覇



約450km!!



沖縄本島



亞熱帯フィールド 科学教育研究センター 与那フィールド

日本の大学の中で唯一、亜熱帯に位置する大学演習林。他の大学や研究機関とも連携し「日本最南端の森林データ」を提供しています。農学部を中心に、学生がフィールドワークや実習で利活用しています。



海外拠点

- 台北サテライトオフィス(台湾)
- ハワイリエゾンオフィス(東西センター)
- ラオスサテライトオフィス

県外拠点

- 東京オフィス

グローバルな視野や思考力を育む海外留学に向けて世界各国・地域の大学等と国際交流協定を締結しています

海外留学・交流協定大学等

- 琉球大学では40カ国・地域の大学等と国際交流協定を締結して、充実した海外留学制度を整えるとともに、経済的な支援として、大学独自の奨学金や支援金により海外留学をサポートしています。また、バラエティ豊かなアジア・太平洋島嶼地域の諸大学に留学できるのも琉球大学ならではです。

国際化とは語学を学ぶことだけではない

今海外の大学院で学んでいるみなさんの先輩がいました。「私は世界で環境工学の仕事がしたくて海外で学んでいます。語学はその目的を達成するためのハードルにしか過ぎませんでした。」重要なのはあなたが何をしたいかです。琉球大学は世界各国・地域に交流協定校があり、選択肢は豊富で、必ずあなたの「何がしたい」にふさわしい場所が見つかるはずです。あるいは「何がしたい」を見つけるために飛び出してもいいです。もちろん語学も大切ですが、それはハードルに過ぎず、ゴールはあなた自身の目的にあります。

琉球大学短期派遣(留学)プログラム 本学から海外への留学

- 派遣期間は、1年間以内
 - 留学先の大学で取得した単位は、琉球大学の卒業要件の単位として認定
 - 留学先の大学の授業料等は不要(ただし、琉球大学に在学している状態となるため、琉球大学の授業料は必要)
 - 日本学生支援機構や琉球大学後援財団による奨学金(5.5～8万円／月)あり(選考があります)
 - 琉大独自の奨学金(8～12万円)や準備金・短期研修参加費用を一部支援する制度もあります(選考あり)
 - 官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～による奨学金(12または16万円／月)や留学準備金、授業料の一部支援も応募可能(諸条件あり)

●学生部 国際教育課の担当職員が、海外留学全般の相談に応じます。お気軽にご相談ください！

学内留学!! 多様な地域からの留学生と国際交流も活発です!

琉球大学は「国際性豊かな特色ある大学」をめざし、国際的に開かれた大学として、各国から多くの留学生を受け入れています。

グローカル実践演習、グローカル実地研修、グローバル実践演習等、留学生とともに学べる科目も豊富に提供されています。

2020年3月16日現在、44の国と地域から324名の留学生を受け入れています。

国際交流協定締結大学(派遣留学対象大学)・印の大学は部局間交流協定です。

(2010年12月1日現在)



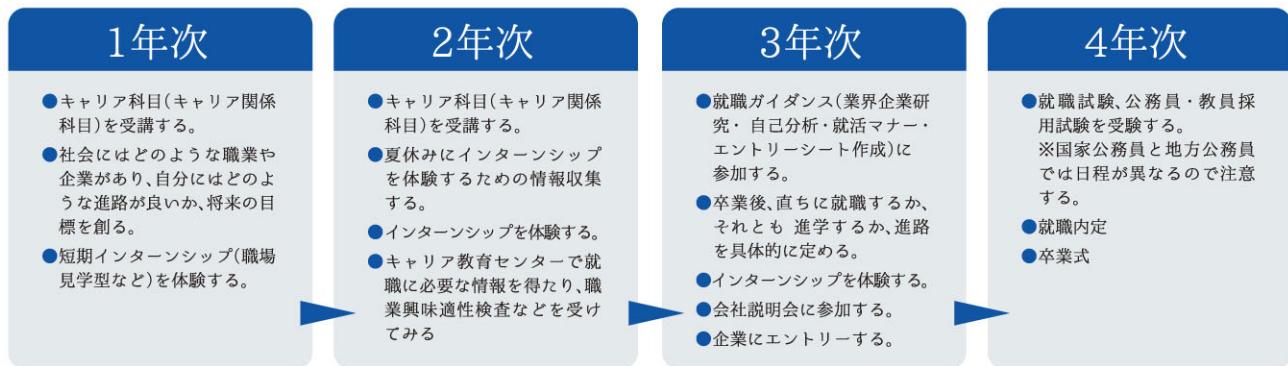
各学部等が行う主な国際交流プログラム

全学部・研究科 対象	交換留学	主に文系の学生 対象	パレンシア国際カレッジ・プログラム	医学部 対象	ラオスでの医学生人材育成支援事業
全学部 対象	海外職場体験	人文社会学部 対象 (国際法政学科)	東アジア諸国、米国(ハワイ・グアム)等での海外研修	工学部 対象	エヌ・テック・システムズ東南アジア派遣助成事業
全学部 対象	海外文化研修	理学部 対象	济州大学校(韓国) 自然科学大学(学部) との学生交流プログラム	農学研究科 対象	「国際農学プログラムによる」海外研修
全学部・研究科 対象	ISEPによる交換留学				
全学部・研究科 対象	UMAPによる交換留学				

琉球大学ならではの学びを社会で活かせるよう充実した就職サポートを提供しています

就職サポート

キャリア支援や就職活動の流れ



キャリア教育センターによる支援

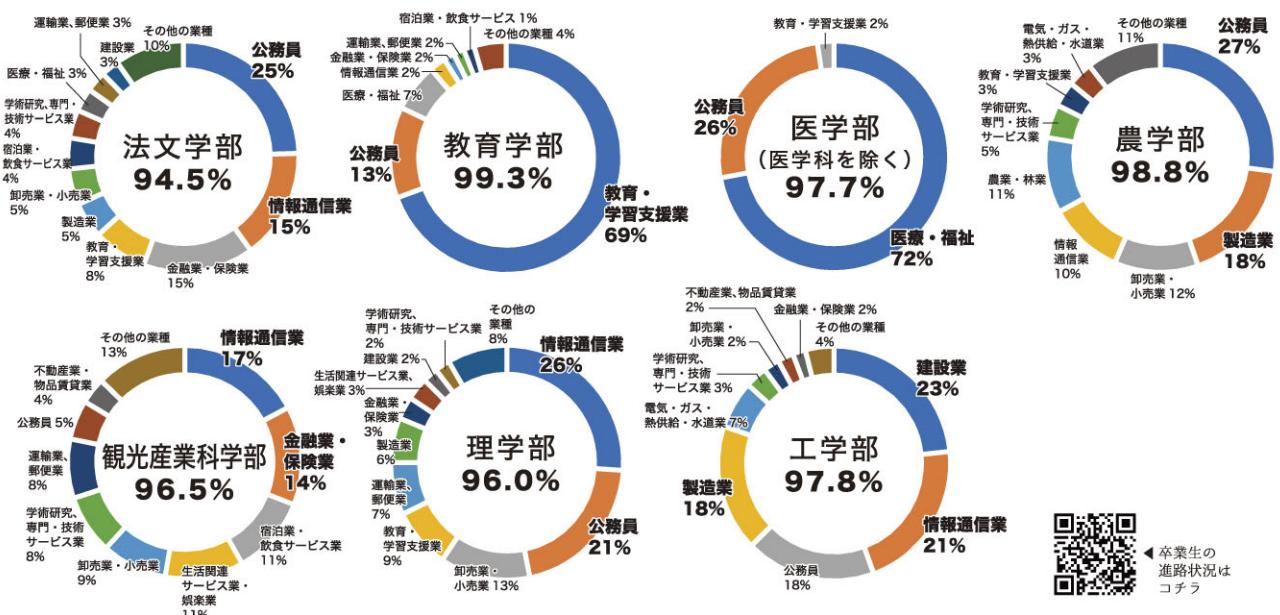
学科・学年ごとに指導教員を配置し、学生の日常生活や進路に関するアドバイスを行っています。また、「キャリア教育センター」では次のような支援を行っています。

- ・求人票・企業資料等の提供
- ・全学生対象・就職ガイダンスの開催
- ・公務員試験対策講座
- ・就職活動の指導と助言
- ・学内合同企業説明会の開催
- ・県外就職活動経費の支援
- ・教員採用試験対策講座の開講
- ・就職関連の書籍やDVDの貸出し
- ・就職関連情報の配信



2018(平成30)年度
学内合同企業説明会の様子

2019年3月卒業生の就職率（就職者/就職希望者）



◀卒業生の進路状況はコチラ

国内外の各地から学生や留学生が集まる琉球大学には異文化交流や人間的成长を促す学生寮(千原寮)があります

学生寮(千原寮)

混住型棟



- 鉄筋コンクリート5階建(男子寮・女子寮)
- 定員／男子：80名 女子／50名
- 居室(12 m²)はすべて個室(トイレ付き)で男子寮は16人、女子寮は10人を1グループとするユニット制です。
- 各階のユニットには補食室、シャワー室、脱衣室、洗濯室等があり、必要な設備と備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます※。

寄宿料	月額4,700円
維持費	月額8,400円 寮生が共用部分で使用する水道・ガス等の経費
電気料	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料を合わせて月額15,000円から20,000円程度です。

新混住型棟



- 鉄筋コンクリート5階建(男子寮・女子寮)
- 定員／男子：59名 女子／39名
- 居室(15 m²)にはキッチン、シャワー、トイレがあり、必要な設備と備品が備え付けられています。
- 男子寮は11人から12人、女子寮は7人から8人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには洗濯機・乾燥機が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます※。

寄宿料	月額15,000円
維持費	月額4,000円 寮生が共用部分で使用する水道等の経費
電気料等	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額22,000円から25,000円程度です。

一般棟および共用棟



- 鉄筋コンクリート5階建
(男子寮3棟／南星棟・海邦棟・北辰棟・女子寮1棟／紫陽花棟)
- 定員／男子：470名 女子／180名
- 居室(9 m²)はすべて個室で10人から12人を1グループとするユニット制です。各階のユニットには補食室、洗面洗濯室、トイレ等があり、各居室には必要な備品が備え付けられています。各居室ではインターネットも利用できます※。
- 共用棟には事務室、談話室(ホール)、一般棟居住者用のシャワー室(男子用・女子用)があります。その他、談話室(ホール)には、トイレがあります。

寄宿料	月額4,300円
維持費	月額4,400円 寮生が共用部分で使用する水道・ガス等の経費
電気料	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料を合わせて月額10,000円から15,000円程度です。

新棟男子寮・新棟女子寮



- 鉄筋コンクリート7階建(男子寮・女子寮)
- 定員／男子：112名 女子／112名
- 居室(16 m²)にはキッチン、シャワー、トイレ(温水洗浄機能付き)、机、イス、ベッドエアコンが備え付けられています。各居室でインターネットも利用できます※。
- 各階では洗濯室(乾燥機付き)、エレベーターが完備されています。

寄宿料	月額25,000円
維持費	月額5,000円 寮生が共用部分で使用する水道・ガス等の経費
電気料等	寮生個人が居室で使用した分を実費徴収

寄宿料、維持費、電気料等を合わせて月額32,000円から37,000円程度です。

※インターネット利用には居住者本人と業者の個人契約が必要です。

P 専用駐車場

学生寮の構内にある千原寮駐車場が利用できます(月額1,000円)。但し、千原寮に居住する学生の車両は、千原寮以外の大学内駐車場の利用および通学には使用できません。

《千原寮入寮案内の請求先》【学寮事務室】〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原59番地 TEL 098-895-8133・8101

誰もが経済的な事情に左右されずに学べるよう、様々な修学支援を行っています。

経済サポート

琉球大学では、様々な入学金・授業料を減免する制度や奨学金の制度を行っています。

(2020年度の制度のため、変更となる場合があります。)

給付 & 減免

新修学支援制度

対象 住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生
※いずれも、全額・3/2・3/1の段階別で実施

JASSO 納付型奨学金(年額)	自宅生約35万円	自宅外生約80万円
授業料等免除(年額)	入学金約28万円	授業料54万円

貸与奨学金 JASSO

第一種奨学金(無利子)	自宅生 45,000円、30,000円、20,000円(月額) 自宅外生 51,000円、40,000円、30,000円、20,000円(月額)
第二種奨学金(有利子)	2万円～12万円(1万円単位)(月額) ※一種と二種の併用も可能
入学時特別貸与(有利子)	10万円～50万円(10万円単位)(一時金) ※入学時特別貸与のみのは不可

免除

琉球大学による入学金免除

対象 日本学生支援機構による修学支援の対象外となった方

入学金免除	全額	半額
-------	----	----

琉球大学による授業料免除

対象 日本学生支援機構による修学支援の対象外となった方

授業料免除	全額	半額
-------	----	----

琉球大学 修学支援基金 学資金支援事業

対象 経済的に著しく困窮している方

授業料免除	授業料(年額)の1/4相当額を給付
-------	-------------------

[免除制度に関する問合せ先] 学生部 学生支援課 学生援護係
TEL : 098-895-8135

[奨学金に関する問合せ先] 学生部 学生支援課 奨学係
TEL : 098-895-8136

※修学支援制度の
詳細については、
右記のQRコードから
アクセスして下さい。



取得可能な資格

学部	学科・課程・専攻・コース・専修		中学校教諭一種 (区分)	高等学校教諭一種 (区分)	その他 (区分)		
学部 人文社会	国際法政学科		—	—			
	人間社会学科			公民（B）			
	琉球アジア文化学科		国語（B）	国語（B）	注)歴史・民俗学プログラムは免許取得不可		
学部 国際地域創造	国際地域創造学科	観光地域デザインプログラム	—	—			
		経営プログラム					
		経済学プログラム(昼間主コース)	社会（B）				
		国際言語文化プログラム(昼間主コース／夜間主コース)	英語（B）	英語（B）			
		地域文化科学プログラム	社会（B）	地理歴史（B）			
教育学部 学校教育教員養成課程	小学校 教育コース	学校教育専攻	教育実践学専修	* (B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)		
			子ども教育開発専修	* (B)	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)		
		教科教育専攻	国語教育専修	国語（B）	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)		
			社会科教育専修	社会（B）	地理歴史(B)公民(B)		
			数学教育専修	数学（B）	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)		
			理科教育専修	理科（B）	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)		
			音楽教育専修	音楽（B）	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)		
			美術教育専修	美術（B）	美術(B)工芸(B)		
			保健体育専修	保健体育（B）	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)		
			技術教育専修	技術（B）	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)		
			生活科学教育専修	家庭（B）	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)		
			英語教育専修	英語（B）	小学校一種(A) 幼稚園一種(B)		
	中学校 教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	国語（A）	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)		
			社会科教育専修	社会（A）	地理歴史(B)公民(B)		
			数学教育専修	数学（A）	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)		
			理科教育専修	理科（A）	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)		
			音楽教育専修	音楽（A）	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)		
			美術教育専修	美術（A）	美術(A)工芸(B)		
			保健体育専修	保健体育（A）	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)		
			技術教育専修	技術（A）	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)		
			生活科学教育専修	家庭（A）	小学校一種(B) 幼稚園一種(B)		
	特別支援 教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修	** (A/B)	小学校一種(A/B) 幼稚園一種(B) 特別支援一種(A)		
理学部	数理科学科		数学（B）	数学（B）			
	物質地球科学科		理科（B）	理科（B）			
	海洋自然科学科						
医学部	医学科		—	—			
	保健学科				養護教諭一種 (B)		
工学部	工学科	機械工学コース	—	工業（B）			
		エネルギー環境工学コース		工業（B）			
		電気システム工学コース		工業（B）			
		電子情報通信コース		工業（B）			
		社会基盤デザインコース		工業（B）			
		建築学コース		工業（B）			
		知能情報コース		情報（B）			
農学部	亜熱帯地域農学科		—	農業（B）			
	亜熱帯農林環境科学科						
	地域農業工学科						
	亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース）				栄養教諭二種 (B)		

区分 (A) 卒業単位を修得すること(卒業)により得られる資格 (B) 卒業単位の修得+当該教員免許取得に必要な科目の履修により得られる資格

*は他専修教科から選択(例:国語を選択すれば「国語」が取得できる)

**は特別支援一種:特別支援学校教諭一種(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)は小学校か中学校のどちらか一方の一種免許が基礎資格となるため、同時に卒業単位で取得できる。

教員免許以外の資格等

学部	学科・課程・専攻・コース・専修	資格・試験名（区分）
人文社会 学部	人間社会学科 琉球アジア文化学科	社会学プログラム 心理学プログラム 博物館学芸員(3) ※国際地域創造学部地域文化科学プログラムの担当者に要相談
国際地域創造学部	国際地域創造学科	観光地域デザインプログラム 経営プログラム 経済学プログラム 国際言語文化プログラム 地域文化科学プログラム 博物館学芸員(3) ※国際地域創造学部地域文化科学プログラムの担当者に要相談 ※観光地域デザインプログラムについては指導教員に要相談 博物館学芸員(3) G I S 学術士(3)
教育学部	学校教育教員養成課程	学校図書館司書教諭(8) 博物館学芸員(美術教育専修:3)
理学部	物質地球科学科 海洋自然学科	物理系 地学系 博物館学芸員(3) 博物館学芸員(3) 毒物劇物取扱責任者(7) 危険物取扱者(甲種)(4) 博物館学芸員(3)
医学部	医学科 保健学科	医師(4) 看護師(4) 保健師(12) 助産師(12) 臨床検査技師(4) 健康食品管理士(12) ※助産師については、将来的に大学院課程への移行を計画しています。
工学部	工学科	自動車整備士(4) 航空整備士(10) ポイラー技士(9) 機械設計技術者3級(10) 技術士(10) 航空無線通信士(10)、危険物取扱試験(10)、基本情報技術者試験(10) 他 エネルギー環境工学コース 電気システム工学コース 電子情報通信コース 電気主任技術者<指定科目の修得が必要>(5) 電気通信主任技術者<指定科目の修得が必要>(2) 第二種電気工事士<指定科目の修得が必要>(2) 2級電気工事施工管理技士(4) 社会基盤デザインコース 建築学コース 知能情報コース ポイラー・タービン主任技術者(5) 衛生管理者(6) 冷凍空調技士(10) 他 電気主任技術者<指定科目の修得が必要>(5) 電気通信主任技術者<指定科目の修得が必要>(2) 第二種電気工事士<指定科目の修得が必要>(2) 2級電気工事施工管理技士(4) 技術士補(1)技術士(6)測量士補(3)測量士(5)1・2級土木施工管理技士(6) コンクリート診断士(6)土木鋼構造診断士(6)他 一級建築士(12) 二級建築士(4) 木造建築士(4) 1・2級建築施工管理技士(6) 1・2級土木施工管理技士(6) 建築設備士(6) 土地区画整理士(6) 他 基本情報技術者試験(10) 応用情報技術者試験(10) ネットワークスペシャリスト試験(10) 他
農学部	亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 亜熱帯生物資源科学科 健康栄養科学コース	飼料製造管理者任用資格(7) 家畜人工授精師<受講科目の一部免除>(10) 樹木医補(3) 家畜受精卵移植師<受講科目の一部免除>(10)飼料製造管理者任用資格(7) 樹木医補(3) 森林情報士二級(3) 飼料製造管理者任用資格(7) 家畜人工授精師<受講科目の一部免除>(10) 食鳥処理衛生管理者任用資格(7) 家畜受精卵移植師<受講科目の一部免除>(10) 測量士補(地域環境工学コース:1、パイオシステム工学コース:3) 技術士<技術士の第一次試験免除(日本技術者教育認定基準「JABEE」)認定プログラム修了者>(6) 食品衛生管理者(10) 食品衛生監視員(10) 環境衛生監視員(10) 健康食品管理士(12) 毒物劇物取扱責任者(7) 危険物取扱者(甲種)(4) 上級バイオ技術者(4) 栄養士(11) 管理栄養士(13) 健康食品管理士(12)

- 区分 (1) 卒業単位を修得すること(卒業)により得られる資格
 (2) 卒業単位を修得することにより試験の一部が免除される試験
 (3) 卒業単位の修得+必要な科目的履修により得られる資格
 (4) 卒業単位を修得することにより受験資格のある試験
 (5) 卒業単位を修得後、実務経験を必要とする資格
 (6) 卒業単位を修得後、実務経験を必要とする試験
 (7) 卒業単位を修得後、指定の職就任を要件とする資格
 (8) 前提となる資格を取得して得られる資格
 (9) 前提となる資格を取得後、実務経験を必要とする資格

- (10)国が認定する1~9以外の資格又は試験
 (11)卒業単位の修得+必要な科目的履修により得られる免許
 (12)卒業単位の修得+必要な科目的履修により得られる受験資格
 (13)前提となる免許を取得後、実務経験を経て、得られる受験資格
 (14)学部における所定単位の修得 / 卒業、及び大学院における所定単位の修得 / 修了
により得られる受験資格、
あるいは学部における所定単位の修得 / 卒業後、実務経験を経て得られる受験資格

2020(令和2)年度入試統計

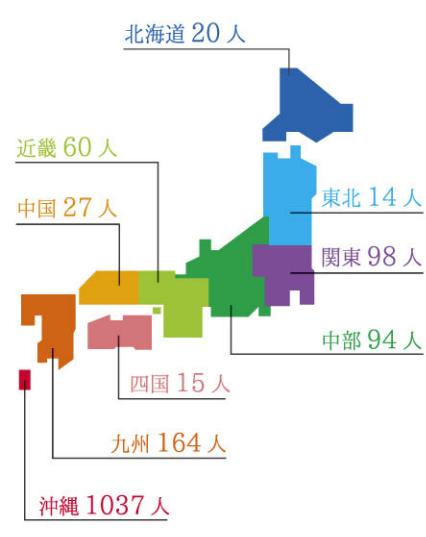
令和2年度 琉球大学 入学試験実施状況 総括表

学部	学科(課程)・専修(コース)	募集人員	志願者		第一段階選抜		受験者		合格者数	入学者	
			人員	倍率	人員	倍率	人員	倍率			
学部 人文社会	国際法政学科	80	295	3.7			184	2.3	88	81	
	人間社会学科	80	312	3.9			219	2.7	87	83	
	琉球アジア文化学科	40	170	4.3			121	3.0	45	40	
	小計	200	777	3.9			524	2.6	220	204	
創国 造際 地 部 域	国際地域 創造学科	265	747	2.8			538	2.0	282	267	
	夜間主コース	80	377	4.7			257	3.2	86	80	
	小計	345	1124	3.3			795	2.3	368	347	
教育学部 学校教育教員養成課程	学校教育専攻		50	194	3.9		118	2.4	50	50	
	小学校 教育コース	教科教育 専攻	国語教育専修								
			社会科教育専修								
			数学教育専修								
			理科教育専修								
			音楽教育専修								
			美術教育専修								
			保健体育専修								
			技術教育専修								
			生活科学教育専修								
			英語教育専修								
	中学校 教育コース	教科教育 専攻	国語教育専修	4	13	3.3		11	2.8	4	4
			社会科教育専修	3	13	4.3		12	4.0	4	4
			数学教育専修	5	15	3.0		15	3.0	5	3
			理科教育専修	5	13	2.6		12	2.4	6	5
			音楽教育専修	3	3	1.0		3	1.0	3	3
			美術教育専修	3	4	1.3		4	1.3	3	3
			保健体育専修	3	12	4.0		10	3.3	4	4
			技術教育専修	3	15	5.0		14	4.7	5	5
			生活科学教育専修	3	7	2.3		5	1.7	3	3
			英語教育専修	3	4	1.3		3	1.0	3	3
	特別支援 教育コース	特別支援 教育専攻	特別支援教育専修	10	16	1.6		14	1.4	11	11
	小計			140	533	3.8		356	2.5	149	145
理学部	数理科学科		40	204	5.1			136	3.4	46	40
	物質地球科学科	物理系	40	174	4.4			140	3.5	49	41
		地学系	25	128	5.1			70	2.8	32	28
	海洋自然科学科	化学系	47	163	3.5			129	2.7	60	47
		生物系	48	170	3.5			124	2.6	57	48
	小計			200	839	4.2		599	3.0	244	204
医学部	医学科		112	616	5.5	300	3.2	385	3.4	114	112
	保健学科		60	178	3.0			127	2.1	69	60
	小計			172	794	4.6	300	3.2	512	3.0	183
工学部	工学科	機械工学コース									
		エネルギー環境工学コース									
		電気システム工学コース									
		電子情報通信コース									
		社会基盤デザインコース									
		建築学コース									
		知能情報コース									
	小計			350	1414	4.0		1043	3.0	396	350
農学部	亜熱帯地域農学科		35	161	4.6			111	3.2	51	36
	亜熱帯農林環境科学科		35	200	5.7			158	4.5	45	35
	地域農業工学科		25	105	4.2			81	3.2	31	25
	亜熱帯生物資源科学科		35	157	4.5			104	3.0	43	36
	健康栄養科学コース		10	29	2.9			27	2.7	11	10
	小計			140	652	4.7		481	3.4	181	142
	合計			1547	6133	4.0		4310	2.8	1741	1564

●志願倍率：志願者数／募集人員 ●受験倍率：受験者数／募集人員

※第一段階選抜については、医学部医学科一般入試(後期のみ実施)のものです(倍率については、第一段階選抜合格者数／募集人員)。

出身地別入学状況



県外出身ランキング

都道府県	人数
1 鹿児島	44
2 東京	34
3 愛知	29
3 福岡	29
5 長崎	27
6 静岡	24
7 大分	22
8 北海道	20
8 兵庫	20

詳しくは琉球大学の
ホームページ
「入試情報」を
ご確認ください。



ACCESS



首里から



※1時間に1本程度／所要時間：25分

94 番線 ➡➡➡ 琉大南口／北口方面 那覇バス モノレール首里駅から琉大北口まで（平日のみ運行）

経路／首里駅前 ⇒ 琉大附属病院前 ⇒ 琉大附属小学校 ⇒ 琉大法文学部前(琉大北口行きのみ) ⇒ 琉大駐車場(北口・終点)

空港から



※1時間に1本程度／所要時間：45分

111 番線 琉球バス 沖縄バス 那覇バス 東陽バス の4社が交互運行

113 117 123 152 番線 琉球バス

経路／空港 ⇒ 那覇バスターミナル ⇒ 沖縄自動車道 ⇒ 琉大入口下車(琉大入口にて下車、琉大北口まで徒歩約4分)

やんばる急行バス 経路／空港 ⇒ 沖縄自動車道 ⇒ 琉大入口下車

那覇から



※各20～40分に1本程度／所要時間：40～50分

97 番線 ➡➡➡ 琉大東口／北口方面 那覇バス

経路／那覇バスターミナル ⇒ 国際通り(牧志) ⇒ 儀保(首里) ⇒ 琉大附属病院 ⇒ 琉大東口 ⇒ 琉大駐車場(北口・終点)

98 番線 ➡➡➡ 琉大北口方面 琉球バス

経路／道の駅 豊崎 ⇒ 那覇バスターミナル ⇒ 国際通り(牧志) ⇒ 古島駅前 ⇒ 真栄原 ⇒ 沖国大前 ⇒ 琉大駐車場(北口・終点)

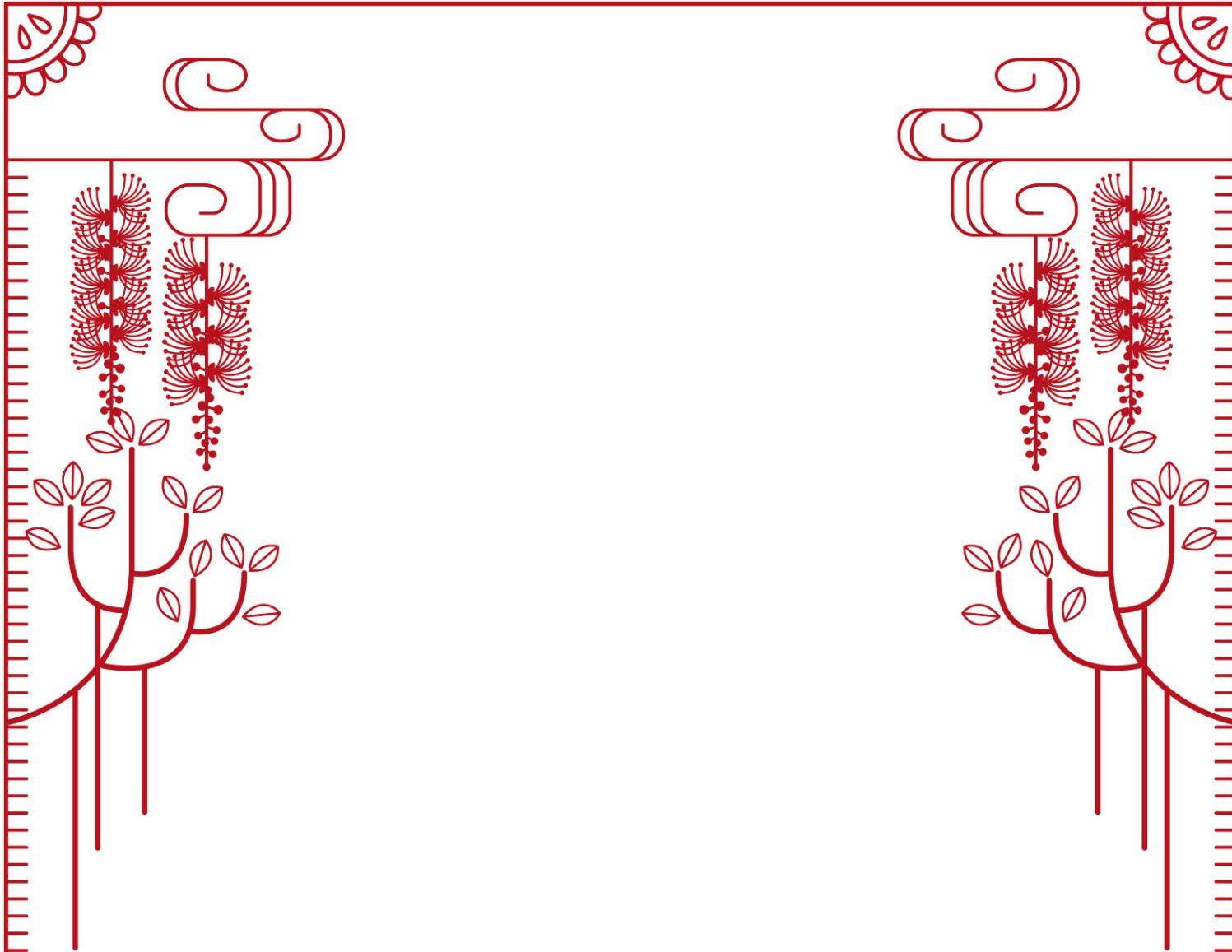


琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

学生部入試課
098-895-8141/8142
E-mail nsndl@acs.u-ryukyu.ac.jp

琉球大学 検索 <http://www.u-ryukyu.ac.jp>



Island wisdom,
for the world,
for the future.



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS